

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	I	1	(1)									
1	I	1	(1)	男女共同参画センター学習	NPO法人たかまつ男女共同参画ネット(委託)	高松市男女共同参画センターにおいて、男女共同参画に関する各種セミナー・講座を開催する。	男女共同参画に対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、各種セミナー・講座を実施する。 学習研修事業(全45回) ・男女が共に活躍するまちづくり講座5回 ・参画センター出前セミナー 7回 など	男女共同参画に対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、各種セミナー・講座を実施する。 学習研修事業(全48回) ・男女が共に活躍できる社会づくり講座6回 ・参画センター出前セミナー 15回 など	4	予定通り事業が実施され、年度目標も達成できたが、最終年度の目標達成のためには、更なる取組による成果向上が必要のため	男女共同参画に対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、各種セミナー・講座を実施する。 学習研修事業(全45回) ・男女が共に活躍するまちづくり講座5回 ・参画センター出前セミナー 7回 など	男女共同参画推進室
2	I	1	(1)	男女共同参画週間事業	市	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の啓発のための講演会・パネル展、弁護士による法律講座・相談等を実施する。	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の推進にかかる講座や研修を行う。 男女共同参画啓発事業(6/23~29) ・街頭キャンペーン ・講演会 ・弁護士相談 ・パネル展	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の推進にかかる講座や研修を行った。 男女共同参画啓発事業(6/23~29) ・街頭キャンペーン ・講演会 ・弁護士相談 ・パネル展	4	予定通り事業が実施され、設定した目標を概ね達成したため。	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の推進にかかる講座や研修を行う。 男女共同参画啓発事業(6/23~29) ・街頭キャンペーン ・講演会 ・弁護士相談 ・パネル展	男女共同参画推進室
3	I	1	(1)	消費者教室	市、高松市消費者団体連絡協議会(共催)	新しい時代に対応できる自立した消費者の育成・意識高揚のため、金銭教育をテーマにした小学生対象の親子教室を開催する。	夏休み親子消費者教室の実施 8月に1回開催 参加者は市内の小学生の親子40組	夏休み親子消費者教室の実施 (8月1日) 参加者:市内の小学生の親子32組78人	4	事業実施時に行ったアンケート結果から、「とても楽しかった」が約81.2%と高く、「次回も参加したい」という感想も多かった。ただ、参加者数が昨年より減少した。	夏休み親子消費者教室の実施 8月に1回開催 参加者は市内の小学生の親子40組	くらし安全安心課
4	I	1	(1)	多重債務問題研修会	市、高松市消費者団体連絡協議会(共催)	多重債務問題の根本的な解決を目指し、多重債務の現状や解決方法についての研修会を開催する。	市民と市職員を対象にした「多重債務問題研修会」を1回開催	市民と市職員を対象に「多重債務問題研修会」を開催(9月28日) 参加者112人	4	事業実施時に行ったアンケート結果から、「大変よかった」「まあまあよかった」の合計が約78.8%と高かった。市民の参加は8人にとどまった。	市民と市職員を対象にした「多重債務問題研修会」を1回開催	くらし安全安心課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
5	I	1	(1)	消費者ウィーク	市(消費生活パネル展は県との共催)	消費者の日(5月30日)を含む消費者ウィークに、各種啓発事業を実施する。	・暮らしをみなおす市民のつどいと同時開催 平成28年5月28日・29日 イオンモール高松1階シーコート ・消費者月間事業記念講演会 平成28年5月26日(木) 市役所13階大会議室	・暮らしをみなおす市民のつどいと同時開催 平成28年5月28日・29日 イオンモール高松1階シーコート 入場者 約3,700人 ・消費者月間事業記念講演会 テーマ「広告を見る目を養おう! ~気になる広告 どこから見る? ~」 平成28年5月26日 市役所13階大会議室 59人受講	5	事業実施時に行ったアンケート結果から、「大変よかった」「よかった」の合計が約85.6%と、昨年度より満足度が14.7%増加した。	・暮らしをみなおす市民のつどいと同時開催 平成29年5月27日・28日 瓦町FLAG 市民交流プラザIKODE瓦町 ・消費者月間事業記念講演会 平成29年5月30日 サンポートホール高松 第2小ホール	くらし安全安心課
6	I	1	(1)	暮らしをみなおす市民のつどい	高松市暮らしを見直す市民集い運営委員会(共催)	高松市消費者団体連絡協議会との共催により、市民参加型の消費者の祭典として実施し、パネル展・活動発表・講座等を開催する。	「消費者ウィーク事業」と同時開催 平成28年5月28日・29日 イオンモール高松1階シーコート 消費者問題に関する啓発等を目的とした各種事業(パネル展・エコ工作・啓発ミニ講座ほか)	「消費者ウィーク事業」と同時開催 平成28年5月28日・29日 イオンモール高松1階シーコート 消費者問題に関する啓発等を目的とした各種事業(パネル展・エコ工作・啓発ミニ講座ほか)を行った。 入場者 約3,700人	5	事業実施時に行ったアンケート結果から、「大変よかった」「よかった」の合計が約85.6%と、昨年度より満足度が14.7%増加した。	「消費者ウィーク事業」と同時開催 平成29年5月27日・28日 瓦町FLAG 市民交流プラザIKODE瓦町 消費者問題に関する啓発等を目的とした各種事業(パネル展・エコ工作・啓発ミニ講座ほか)	くらし安全安心課
7	I	1	(1)	消費生活出前講座	市	消費生活を取り巻く社会経済情勢に対応し、消費者意識の高揚・消費生活に関する知識の普及のため、消費生活出前講座を実施する。	消費生活相談員を講師に、消費者被害の未然及び拡大防止を目的とした講座を、市内のコミュニティセンター等で実施する。また、消費者団体連絡協議会と連携して「寸劇」を盛り込む等により楽しく見てもらい、出前講座が各地域に広がるよう努める。	実施回数: 10回(コミュニティセンター、老人会等)	4	昨年度より実施数は少なかったが、消費者トラブルに遭いやすい高齢者に向けた啓発を行い有効であった。	消費生活相談員を講師に、消費者被害未然防止・拡大防止を目的とした講座を、市内のコミュニティセンターなどで実施する。また、消費者団体連絡協議会にも「寸劇」コーナーを一緒に行う等により講座に参加してもらい、出前講座が各地域に広がるよう努める。	くらし安全安心課
8	I	1	(1)	ひとり親家庭就労自立支援セミナー	市	ひとり親を対象に、早期就職に必要な知識・技術等を習得できるよう、きめ細やかで特色ある講座を開講する。	平成26年度で中止 (評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	子ども家庭課
9	I	1	(1)	犬猫の飼う前教室	市	動物愛護意識を高め、動物の適正な飼養について理解を深めるため、講習会を開催する。	引き続き、個別開催を実施し、受講しやすい環境を設定する。	安易な飼養の抑制、終生飼養の徹底及び適正飼養を中心とした講習会を保健所で実施した。 実施回数: 83回 受講人数: 149人	5	前年度より実施回数及び受講人数は若干減ったが、譲渡を遠し、命の大切さや適正飼養の普及啓発を推進できた	引き続き、個別開催を実施し、受講しやすい環境を設定する。	生活衛生課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
10	I	1	(1)	犬の飼い方教室	市	犬を飼い始めた市民を対象に、犬の基本的な飼い方・しつけ方、健康管理や飼養に関するルール・マナー等について講習会を開催する。	また、内容を細分化し、飼い主にとって必要な情報を選択、提供できるよう、検討する。	基本的な飼い方、しつけ方、健康管理、お悩み相談等について開催した。 実施回数:2回 受講人数:21人	3	内容の細分化までは至らず、基本的な飼い方等の講習となった。また、周知不足なのか、受講人数が前年度より少なくなった。	内容を細分化し、飼い主にとって必要な情報を提供できるよう、検討する。	生活衛生課
11	I	1	(1)	ひきこもり等の支援事業	市	ひきこもり等の家族や当事者からの相談に対応し、県ひきこもり支援センターや関係機関と連携しながら支援を行う。	サポーター派遣事例:2件 派遣回数:延10回 NPO法人KHJ香川県オーリーブの会(ひきこもり家族会)に委託し、若年層ひきこもり相談窓口を設置して行政機関より相談しやすい環境を整える。	サポーター派遣事例:5例 派遣回数:延31回	3	平成28年度より相談窓口を開設したことで、そこからサポーター派遣につながったケースもあったことから、一定の評価はできる。その中で課題も見えてきたので、次年度以降検討の余地はある。	29年度からはひきこもり相談窓口の年齢制限を緩和し、幅広く受け付けていく。また、通常の相談業務や県ひきこもり支援センターからの相談に対し、サポーター派遣の可能なケースに対し引き続き支援していく。	保健センター
12	I II	1 2	(1) (2)	NPO等の活用による環境学習活動	市	多様な環境活動を行うNPO等の活用により、専門的で効果的な環境学習の機会を提供する。	27年度に引き続き、環境に関する活動を行っているNPO等を講師に招き、より専門的で効果的な環境学習活動を実施し、参加者の環境意識の向上に努める。また、新たな団体等に呼びかけを行ったりNPO等の活動状況を発表する場を提供するなど、協力NPO等の増加を図る。	環境に関する活動を行っているNPO等の自主性を促進しながら活動をより活性化させるとともに、専門的なプログラムの提供により、市民の環境問題に対する効果的な意識啓発を図った。	4	目標団体数は達成できなかったが、前年度と同数のNPO等の協力により、市民からの要望を踏まえ、より専門的で効果的な環境学習の機会を提供することができた。	28年度に引き続き、環境に関する活動を行っているNPO等を講師に招き、より専門的で効果的な環境学習活動を実施し、参加者の環境意識の向上に努める。また、新たな団体等に呼びかけを行ったりNPO等の活動状況を発表する場を提供するなど、協力NPO等の増加を図る。	環境保全推進課
13	I I	1 5	(1) (3)	高松テルサ文化教養・研修事業	市	勤労者の福祉の充実、勤労意欲の向上のため、高松テルサで、各種文化教養・スポーツ講座等を開催する。	勤労者の福祉の充実、勤労意欲の向上のため、高松テルサにおいて、パソコン講座、音楽教室・英会話教室などの各種文化教養講座を開催する。特に、市民の声を反映させた講座の開設や、幅広い年齢層を対象とした企画に取り組む。	・パソコン講座、うたごえコーラス等音楽コース、英会話教室など、多種多様な講座を開講した。 パソコン講座受講者数:702人 音楽コース受講者数:504人 その他講座・教室受講者数:582人	4	例年行っているパソコン・音楽コース受講者数が減少したため、全体の受講者数は若干減少したが、利用者のニーズに合わせ、様々な講座や教室を企画し、パソコン講座・音楽コース以外のその他講座・教室の受講者数は大幅に増加したため。	勤労者の福祉の充実、勤労意欲の向上のため、高松テルサにおいて、パソコン講座、音楽教室、英会話教室などの各種文化教養講座を開催する。	産業振興課
14	I	1	(1)	就活応援・適職相談事業	市	就職活動や仕事探しの一助とするため、関係機関の協力を得て、就職に関する悩みや課題解決の支援を行う。	就職活動や仕事探しの一助とするため、関係機関の協力を得て、就職に関する悩みや課題解決の支援を行う。また、今年度は開催場所の変更を予定している。	雇用情勢の買い手市場から売り手市場への変化により、市の支援も求職者支援から企業の人材確保支援に転換する必要があることなどから、本事業については、当面開催を見合わせる予定(市長・副市長に説明済)。	(評価不可)	開催を見合わせたため。	雇用情勢の買い手市場から売り手市場への変化により、市の支援も求職者支援から企業の人材確保支援に転換する必要があることなどから、本事業については、当面開催を見合わせる予定(市長・副市長に説明済)。	産業振興課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	I	II	III									
15	I	1	(1)	成人式式典事業	市	新成人を対象に、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますための式典を開催する。	開催日:平成29年1月8日(日) 開催場所:サンポートホール高松 該当者数:3,867人(4月3日 現在の市内住民登録者)	開催日:平成29年1月8日(日) 開催場所:サンポートホール高松 該当者数:4,171人 出席者数:2,673人 出席率:64.1%	5	会場がサンポートホール高松に変更になってから過去最高の出席率となったため。	開催日:平成30年1月7日(日) 開催場所:サンポートホール高松 該当者数:3,979人(4月20日 現在の市内住民登録者)	生涯学習課
16	I	1	(1)	知的障がい者青年教室	市	知的障がいのある青年が、集団活動を通して、人とふれあい社会人としての知識・技能を修得するとともに、市民ボランティアが知的障がい者への理解を深める機会として教室を開設する。	年間8回(5、6、7、9、10、11、1、2月)実施 受講生登録予定者数 45人 ボランティア登録予定者数 50人	年間8回(5/22、6/26、7/31、9/25、10/23、11/27、1/22、2/26)実施 受講生登録者数 37人 ボランティア登録者数 55人 場所:生涯学習センター他 内容:防災学習、料理教室等	4	受講生とボランティアの各回の評価を見ると、ともに9割近くの人が良かったと回答しているため。一方、受講生登録者数が予定数より低かったため、もう少し、周知方法を検討する必要がある	年間8回(5、6、7、9、10、11、1、2月)実施 受講生登録予定者数 45人 ボランティア登録予定者数 50人	生涯学習課
17	I	1	(1)	生涯学習カレッジ事業	市	社会変化に対応した生活課題や環境問題など現代的課題をテーマにした講座や、高度で専門的な学習機会を提供する。	社会変化に対応した生活課題や環境問題など現代的課題をテーマにした講座や、高度で専門的な学習機会を提供し、講座参加人数11,000人を目指す。	社会変化に対応した生活課題や環境問題など現代的課題をテーマにした講座や、高度で専門的な学習機会を提供し、講座参加人数9,892人だった。	4	講座参加人数が目標に達しなかった。	社会変化に対応した生活課題や環境問題など現代的課題をテーマにした講座や、高度で専門的な学習機会を提供し、講座参加人数11,000人を目指す。	生涯学習センター
18	I	1	(1)	コミュニティセンター講座	市、コミュニティセンター	コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、地域住民に学習機会を提供する。	コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、地域住民に学習機会を提供し、講座参加人数107,100人を目指す。	コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、地域住民に学習機会を提供し、講座参加人数103,078人だった。	4	講座参加人数が目標に達しなかった。	コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、地域住民に学習機会を提供し、講座参加人数107,100人を目指す。	生涯学習センター
19	I	1	(1)	高齢者教室	市、コミュニティセンター	コミュニティセンターで、高齢者が社会変化に対応する知識・能力を高め生活するために必要な学習機会を提供する。	コミュニティセンターで、高齢者が社会変化に対応する知識・能力を高め生活するために必要な学習機会を提供し、講座参加人数25,200人を目指す。	コミュニティセンターで、高齢者が社会変化に対応する知識・能力を高め生活するために必要な学習機会を提供し、講座参加人数21,509人だった。	4	講座参加人数が目標に達しなかった。	コミュニティセンターで、高齢者が社会変化に対応する知識・能力を高め生活するために必要な学習機会を提供し、講座参加人数25,200人を目指す。	生涯学習センター
20	I	1	(1)	女性教室	市、コミュニティセンター	コミュニティセンターで、男女共同参画社会を目指し、女性としての資質・能力の向上を図るための学習機会を提供する。	コミュニティセンターで、男女共同参画社会を目指し、女性としての資質・能力の向上を図るための学習機会を提供し、講座参加人数12,900人を目指す。	コミュニティセンターで、男女共同参画社会を目指し、女性としての資質・能力の向上を図るための学習機会を提供し、講座参加人数12,155人だった。	4	講座参加人数が目標に達しなかった。	コミュニティセンターで、男女共同参画社会を目指し、女性としての資質・能力の向上を図るための学習機会を提供し、講座参加人数12,900人を目指す。	生涯学習センター

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1～5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	I	II	III									
21	I	1	(1)	本のソムリエ派遣事業	市	図書館司書(本のソムリエ)を派遣し、図書館の仕組みや便利な使い方、本の上手な探し方などを周知する。	図書館を知り、本に親しんでもらう企画として、本の専門知識を有する図書館司書(本のソムリエ)を10名以上の出席が可能な団体へ派遣し、市民の読書活動の推進を図る。また、チラシの配布、ホームページによる広報活動を行い、事業の周知を図る。	団体等からの要請に応じ、図書館司書(本のソムリエ)の派遣を6回実施した。	5	団体からの要請に応じ、図書館司書(本のソムリエ)を派遣した。	図書館を知り、本に親しんでもらう企画として、本の専門知識を有する図書館司書(本のソムリエ)を10名以上の出席が可能な団体へ派遣し、市民の読書活動の推進を図る。また、チラシの配布、ホームページによる広報活動を行い、事業の周知を図る。	中央図書館
22	I	1	(1)	交通安全教室(再掲) (No. 109)					選択してください			くらし安全安心課
23	I	1	(1)	市民グループ学習支援事業(再掲) (No. 163)					選択してください			生涯学習課
24	I	1	(2)	人権・同和問題啓発活動事業	市、コミュニティセンタ、高松市人権啓発推進協議会(26年度以降、人権尊重都市たかまつ市民会議)	市民の人権意識の普及・高揚を図るため、啓発物品等の作成・配布及び人権フェスティバル、市民のつどい、ハンセン病を正しく理解する講演会等を開催する。	○人権啓発用パンフレット、啓発物品等の作成・配布 ○人権フェスティバルの開催 年1回 ○人権を守る市民のつどいの開催 年1回 ○ハンセン病を正しく理解するパネル・作品展 ○ハンセン病を正しく理解する講演会の開催 年1回 ○人権の花運動	○人権啓発用パンフレット、啓発物品等の作成・配布 ポスター700枚、ポケットティッシュ8,500袋、リーフレット10,000枚、ステッカー1,000枚 ○人権フェスティバルの開催 6月5日 ○人権を守る市民のつどいの開催 1月21日 ○ハンセン病を正しく理解するパネル・作品展 7月6日～11日 ○ハンセン病を正しく理解する講演会の開催 2月9日 ○人権の花運動 小学校5校配置	5	計画どおり事業を実施でき人権意識の普及・啓発に活かすことができた。	○人権啓発用パンフレット、啓発物品等の作成・配布 ○人権フェスティバルの開催 年1回 ○人権を守る市民のつどいの開催 年1回 ○ハンセン病を正しく理解するパネル・作品展 ○ハンセン病を正しく理解する講演会の開催 年1回 ○人権の花運動	人権啓発課
25	I	III	(2) (1)	地域における人権啓発推進事業	市、地域コミュニティ協議会	各地域コミュニティ協議会で選任された人権啓発推進員が、生涯学習推進員と協力して、地域の生涯学習における人権に関する講座の企画・運営及び広報活動を実施する。	○人権啓発推進員研修会の開催 年2回 ○地域の「生涯学習事業」の中で実施されている人権に関する講座の企画・運営及び広報活動	○人権啓発推進員研修会の開催 10月25日 ○地域の「生涯学習事業」の中で実施されている人権に関する講座の企画・運営及び広報活動	4	ほぼ計画どおり事業を実施できたが、更なる取組による成果向上の余地はある。	○人権啓発推進員研修会の開催 年2回 ○地域の「生涯学習事業」の中で実施されている人権に関する講座の企画・運営及び広報活動	人権啓発課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
26	I	1	(2)	人権・同和問題指導者養成事業	市	人権を尊重する明るい職場づくりや人権に配慮したやさしい企業づくりを推進するため、市内の事業所の代表者や人権啓発等を担当する職員を対象に、指導者研修講座を開催する。	○人権・同和問題指導者研修講座の開催 年1回(2日)	○人権・同和問題指導者研修講座の開催 11月9,22日	5	計画どおり事業を実施でき人権意識の普及・啓発に活かすことができた。	○人権・同和問題講座の開催 年3回 * 人権・同和問題指導者研修講座(人権啓発課:2日)及び高松市許可・登録業者人権研修講座(産業振興課:1日)事業を一本化し企業の利便性図る。	人権啓発課
27	I	1	(2)	平和啓発推進事業	市	平和意識の啓発・普及のため、平和を語るつどい・映画祭、空襲写真展、戦争遺品展、講演会等を開催する。	○平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭、高松空襲写真展、高松市戦争遺品展、平和記念館開館記念事業、教職員のための平和教育講演会、收藏品巡回展、非核宣言自治体協議会研修会の開催 ○平和記念だよりの発行	○平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭(5月21日)高松空襲写真展(7月1日~7日)、高松市戦争遺品展(8月5日~10日)、平和記念館開館記念事業(12月22日など)、教職員のための平和教育講演会(1月5日)、收藏品巡回展、非核宣言自治体協議会研修会(1月27日)の開催 ○平和記念だよりの発行	5	計画どおり事業を実施でき平和意識の普及・啓発に活かすことができた。	○平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭、高松空襲写真展、高松市戦争遺品展、教職員のための平和教育講演会、收藏品巡回展、非核宣言自治体協議会研修会の開催 ○平和記念だよりの発行	人権啓発課
28	I	1	(2)	許可・登録業者人権研修講座	市	企業等の社会的責任として、人権・同和問題について正しい理解と認識を深めるため、研修講座を開催する。	企業等の社会的責任として、人権・同和問題について正しい理解と認識を深めるため、研修講座を開催する。	・11月29日に人権研修講座を開催。講師を招き、「セクハラ・パワハラ」の基本的理解と防止に向けて」について講話等を行った。その他、人権啓発等に関するパンフレットも配布した。 受講者数:278人	5	受講者数が目標値を上回り、人権問題に対する企業の意識が高まってきていると考えられるため。	市民政策局(人権啓発課)に移管。	産業振興課
29	I IV	1 1	(2) (1)	多文化共生事業	市	母国語で情報入手が困難な外国人住民を支援するため、「多言語メルマガ もっと高松」を配信する。	母国語で情報入手が困難な外国人住民を支援するため、高松市や(公財)高松市国際交流協会等が実施するイベントや地域に関する情報等を、毎月第2金曜日に、英語・中国語によるメールマガジン「多言語メルマガ もっと高松」で配信する。	毎月第2金曜日に英語・中国語によるメールマガジン「多言語メルマガ もっと高松」を配信し、外国人住民への情報提供を行うことができた。	5	毎月第2金曜日に「多言語メルマガ もっと高松」を配信できており、登録者も増やすことができたため。	母国語で情報入手が困難な外国人住民を支援するため、高松市や(公財)高松市国際交流協会等が実施するイベントや地域に関する情報等を、毎月第2金曜日に、英語・中国語によるメールマガジン「多言語メルマガ もっと高松」で配信する。	都市交流室
30	I	1	(2)	かがわ国際フェスタ	市	国際交流・協力活動への参加・理解の促進、市民と在住外国人の相互理解・交流を深めるため、「かがわ国際フェスタ」を開催する。	(公財)香川国際交流協会等と共催で、国際交流・国際協力に携わる県内の団体相互の連携強化や、市民の国際交流・協力活動への参加・理解の促進とともに、市民と在住外国人との相互の理解・交流を深めるために実施する。	(公財)香川県国際交流協会等との共催で、平成28年10月10日(月・祝)に香川国際交流会館(アイパル香川)を会場として「かがわ国際フェスタ2016」を開催。約4,200人が様々なイベントに参加し、国際交流への理解を深めることができた。	5	目標を上回る参加者数であったため。	(公財)香川国際交流協会等と共催で、国際交流・国際協力に携わる県内の団体相互の連携強化や、市民の国際交流・協力活動への参加・理解の促進とともに、市民と在住外国人との相互の理解・交流を深めるために実施する。	都市交流室

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	I	1	(2)									
31	I	1	(2)	人権教育市民講座	市	コミュニティセンターで、地域住民を対象に、啓発資料や視聴覚教材を活用した人権教育市民講座を開催する。	52コミュニティセンターで開催する。	延べ35コミュニティセンターで開催延べ1,636名参加	4	地域住民への人権教育推進が図られたが、講座未開催のコミュニティセンターがある。	52コミュニティセンターで開催する。	人権教育課
32	I	1	(2)	男女共同参画センター学習(再掲)(No. 1)					選択してください			男女共同参画推進室
33	I	1	(2)	男女共同参画週間事業(再掲)(No. 2)					選択してください			男女共同参画推進室
34	I	1	(2)	みんなで人権を考える会(再掲)(No. 86)					選択してください			人権教育課
35	I	1	(3)	瀬戸内国際芸術祭推進事業	瀬戸内国際芸術祭実行委員会(補助)	文化芸術の振興と瀬戸内の活性化・地域振興、世界への情報発信のため、3年毎に国際的な芸術祭として「瀬戸内国際芸術祭」を開催する。	瀬戸内国際芸術祭2016開催 芸術祭実行委員会負担金 芸術祭関連事業(高松市版総合ガイドブック作成及びイベント実施など)	瀬戸内国際芸術祭2016の開催(H28.3.20~H28.11.6)。各種イベントの実施、屋島山上作品の設置・管理、高松市版総合ガイドブック「めぐると高松」の作成・配布等。 開催日数:108日間 来場者数:1,040,050人(うち、市内231,167人)	5	高松市エリアの来場者数については、前回(瀬戸内国際芸術祭2013)から増加している。また、海外からの来場者の増加や、芸術祭以外の観光地を訪問する来場者が増加している。	ART SETOUCHI 2017の開催と、瀬戸内国際芸術祭2019開催に向けた準備を行う。	文化芸術振興課
36	I	1	(3)	市民文化祭	高松市市民文化祭アートフェスタたかまつ事業運営委員会(補助)	市民企画提案型事業「アーツフェスタたかまつ」と、各地区の特性を生かした地区文化祭の開催を支援する。	平成28年5月28日(土)から7月10日(日)の期間でアーツフェスタ2016を開催。 企画は、オープニング事業、主催事業15事業、後援事業3事業を予定している。	開催団体:オープニング事業1団体、主催事業15団体、後援事業3団体 鑑賞者数:9,770人	5	参加団体が5団体が増え、プログラムが充実したこともあり、前年度よりも鑑賞者数が1,662人増加した。 文化芸術団体の発表の場と参加団体の相互交流の機会も提供できた。	平成29年5月27日(土)から7月2日(日)の期間でアーツフェスタ2017を開催。 企画は、オープニングセレモニー、オープニング事業(書道パフォーマンス・いけばな展等のオープニングパフォーマンス、オープニング公演)、主催事業15事業、後援事業3事業を予定している。	文化芸術振興課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
37	I	1	(3)	デリバリーアーツ事業	市	普段の生活の中で身近で気軽に文化芸術に親しむ機会づくりとして、市民の希望により出前公演を実施する。	平成28年8月から平成29年3月までの開催期間で募集を行う。 落語、アンサンブル演奏、和太鼓、影絵劇、金管五重奏、トルンコンサートの6メニューで実施予定である。	開催回数:全16回(内さぬき市1回) 鑑賞者数:1,657人(内さぬき市100人) 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組事業として、圏域市町に呼びかけ、さぬき市でも実施した。	5	前年度よりも鑑賞者が117人増えたとともに、開催した団体から好評であり、再度実施したいという要望が多く、満足度が高いといえる。	平成29年8月から平成29年12月までの開催期間で募集を行う。 公演は、落語、アンサンブル演奏、和太鼓、金管五重奏と初めての開催となる、あやつり人形劇、尺八コンサート、サーカスキャラパンの7メニュー、15公演を予定している。瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組事業として、圏域内のさぬき市、東かがわ市でも開催する。	文化芸術振興課
38	I	1	(3)	文化芸術ホール自主事業	公益財団法人高松市文化芸術財団(補助)	文化芸術ホールにおいて、文化芸術の振興・普及のため、コンサート等各種事業を開催する。	主催(補助)事業9事業、主催(独自)事業3事業、共催(補助)事業1事業を計画。	主催(補助)事業9事業、主催(独自)事業3事業、共催(補助)事業1事業を実施。	5	計画通りに実施しており、鑑賞者数も増加したため。	主催(補助)事業10事業、主催(独自)事業2事業、共催(補助)事業3事業を計画。	文化芸術振興課
39	I	1	(3)	まちなかパフォーマンス事業	MUSIC BLUE TAKAMATSU実行委員会(委託)	芸術文化への関心を高め、中心市街地のにぎわいを創出するため、サンポート高松・丸亀町商店街などで、アートに関連した各種イベント等を実施する。	・TAKAMATSU MUSIC BLUE FES 2016 ・街クラシックin高松 ・高松フラストリート ・サンポートオータムジャム ・大道芸フェスタ 上記5事業を開催する。	・TAKAMATSU MUSIC BLUE FES 2016 ・街クラシックin高松 ・高松フラストリート ・サンポートオータムジャム ・大道芸フェスタ 上記5事業を実施した。	5	前年度より、公演数・観覧者数が共に増加したため。	・TAKAMATSU MUSIC BLUE FES 2017 ・街クラシックin高松 ・高松フラストリート ・サンポートオータムジャム ・大道芸フェスタ 上記5事業を開催する。	文化芸術振興課
40	I	1	(3)	美術館催し物事業	市	特別展会期中に館内エントランスホール等で県内若手演奏家によるミニコンサート等を開催する。	リニューアルオープン記念「ダンス公演」はじめ、従来のミニコンサート等を特別展に併せてエントランスで開催予定。	リニューアルオープン記念「ダンス公演」や特別展に併せた従来のミニコンサート(5回)をエントランスホールで開催する他、ダンス公演(1回)を展示室で開催。	5	設定した目標が達成され、十分成果が上がっているため。	特別展に併せた従来のミニコンサートエントランスホールで開催予定。	美術館美術課
41	I	1	(3) (1)	ふるさと探訪事業	市(高松市歴史民俗協会、(H26~)高松市文化財保護協会と共催)	市内・近郊各所の文化財に触れ、郷土の歴史・文化の学習ができるよう、年間10回「ふるさと探訪」を開催する。	ふるさと探訪を年間10回開催する 市内・・・郷東町(香東神社ほか)、六条町(高原水車ほか)など7箇所 市外・・・引田町(讃州井筒屋敷ほか)、坂出市(香風園ほか)など3箇所	ふるさと探訪を年間10回開催した 市内・・・郷東町(香東神社ほか)、六条町(高原水車ほか)など7箇所 市外・・・引田町(讃州井筒屋敷ほか)、坂出市(香風園ほか)など3箇所	4	郷東町や国分寺町など、市内での開催時には平均して100名を超える大勢の方の参加をいただき、また、市外開催時においても、坂出市での開催時には120名もの御参加をいただいたが、広報の工夫で更なる参加者の増加を図れる余地があるため。	ふるさと探訪を年間10回開催する 市内・・・浜ノ町(水任流泳法見学ほか)、塩江町(最明寺ほか)など7箇所 市外・・・綾歌町(快天山古墳ほか)、三木町(西徳寺ほか)など3箇所	文化財課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	I	1	(3)									
42	I	1	(3)	親子文化財教室	市(高松市文化財保護協会共催)	市内の小学生と保護者を対象に、年2回、郷土の歴史・文化財を学習し、文化財を身近に学ぶ機会を提供する。	①たまもんをつくろう！！ ②高松城下図屏風をみてみよう！	①たまもんをつくろう！！ ②高松城下図屏風をみてみよう！ 参加人数72名	5	夏休み・冬休みの行事として定着しており、昨年度よりも多くの参加者があった。	①高松張子人形をつくろう！ ②発掘調査にチャレンジ(六条町)	文化財課
43	I	1	(3)	石の民俗資料館友の会コンサート	市、石の民俗資料館友の会	地域文化の向上を目指し、石の民俗資料館友の会が、年5回程度、クラシック音楽等コンサートを開催する。	(H28年度中5回開催予定) 「ピアノトリオの夕べ」5/21 「和田絵里子ヴァイオリンリサイタル(仮)」7/16 「ソプラノリサイタル(仮)」10/15 「サクソカルテット(仮)」12/17 「ソプラノリサイタル(仮)」3/18	(H28年度中5回開催) 「ピアノトリオの夕べ」5/21 「和田絵里子ヴァイオリンリサイタル」7/16 「ソプラノリサイタル」10/15 「サクソカルテット」12/17 「ソプラノリサイタル」3/18	5	毎年多くの入場者があり、石の民俗資料館の行事(牟礼地区のコンサート)として定着し、人気がある。	(H29年度中5回開催予定) 「フランス歌曲ソプラノ」5/20 「ソプラノリサイタル(仮)」7/15 「ピアノとフルートDuo(仮)」10/21 「トロンボーン(仮)」12/16 「ピアノとヴァイオリンDuo(仮)」3/17	石の民俗資料館
44	I	1	(4)	スポーツ教室	公益財団法人高松市スポーツ振興事業団	市民の健康増進と体力向上を図るため、各スポーツ施設の特徴を活かした各種スポーツ教室を開催する。	市民の健康増進と体力向上を図るため、111教室を実施し、延べ43,000人の参加を予定。	103教室 45,316人	4	計画よりも教室数は減少したが、参加者数は増加した。	市民の健康増進と体力向上を図るため、123教室を実施し、延べ46,000人の参加を予定。	スポーツ振興課
45	I	1	(4)	市民スポーツフェスティバル	高松市市民スポーツフェスティバル実行委員会	市民参加の機会として、小学校区対抗競技10種目、水泳競技大会、トリムの祭典、高松ファミリー&クォーターマラソンを実施する。	小学校区対抗競技12種目、水泳競技大会、トリムの祭典を実施する。 なお、高松ファミリー&クォーターマラソンinAIIについては、市民スポーツフェスティバルから切り離れた形で、引き続き、実施する。	小学校区対抗競技 3,192人 水泳競技大会 372人 トリムの祭典 6,000人 参加総数 9,564人	3	小学校区対抗競技については、一人でも多くの市民に参加いただけるよう見直し検討委員会において参加要件の緩和等の見直し・改善に取り組んでいるが、結果的には前年とほぼ同様の参加者数となったため。	小学校区対抗競技12種目、水泳競技大会、トリムの祭典を実施する。	スポーツ振興課
46	I	1	(4)	こんぴら健脚大会	市	歩くことの意義を再確認し、足腰の鍛錬と健康増進を図るため、琴平高灯笼を目指して健脚大会を開催する。	27年度をもって廃止となった。	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	スポーツ振興課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	I	II	III									
47	I	1	(4)	高松スポーツカーニバル	市	広く市民にスポーツ活動への参加を促し、健康増進と体力向上、スポーツ施設への利用促進を図る。	仏生山公園等で歩く、踏む、走る、泳ぐ、投げる、体験するをコンセプトに実施する。	参加者5,288人	3	参加者数については、当日の天候やゲスト(オリンピック)の人気等により左右されるものの、前年に対して約100人の減少となったため。	仏生山公園等で歩く、踏む、走る、泳ぐ、投げる、体験するをコンセプトに実施する。	スポーツ振興課
48	I	1	(4)	体育の日 スポーツ施設無料開放事業	市	体育の日にスポーツ施設を無料開放し、市民が気軽にスポーツに親しむ機会を提供する。	有人施設を無料開放し、各競技団体に体験教室を実施してもらい、スポーツに親しむ機会を提供する。	28年度から事業廃止(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	スポーツ振興課
49	I III	1 1	(4) (1)	市民登山学校	市	健康維持、自然保護の啓発、登山知識・技術を習熟するため。講座を実技を開催する。	月1回の講座と実技を実施する。	延べ参加者数480人	2	近年の中でも参加者数が大幅に少なくなったことから、募集時の周知方法等について改善する必要があるため。	月1回の講座と実技を実施する。	スポーツ振興課
50	I	1	(4)	地域密着型トップスポーツチーム交流・連携事業(再掲)(No.180)					選択してください			スポーツ振興課
51	I I	2 2	(1) (3)	地域子育て支援拠点事業	市(委託、直営)	乳幼児及び保護者が相互交流する場を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言など支援を行う。	私立保育所及び認定こども園に委託(旧センター型) 19か所 週6~7日開設 8,317千円×1か所 週5日開設 7,803千円×17か所 小規模型 2,694千円×1か所 (利用者支援事業5日型 7,066千円×1か所)	私立保育所及び認定こども園に委託(旧センター型) 19か所 週6~7日開設 8,317千円×1か所 週5日開設 7,803千円×17か所 小規模型 2,694千円×1か所 (利用者支援事業5日型 7,066千円×1か所)	5	事業を実施した箇所数が設定した数値に達したため	私立保育所及び認定こども園に委託(旧センター型) 19か所 週6~7日開設 8,317千円×1か所 週5日開設 7,803千円×17か所 小規模型 2,694千円×1か所 (利用者支援事業5日型 7,066千円×1か所)	こども園総務課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	I	2	(1)									
52	I	2	(1)	地域子育て支援拠点事業	市(委託、直営)	乳幼児および保護者が相互交流する場を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言など支援を行う。	NPO法人等に委託(旧ひろば型) 9か所 委託料 週6日開設8,317千円×2か所 週5日開設7,803千円×7か所 加算事業 1,398千円×1か所(出張ひろば) ・直営 1か所(小規模型、経過措置) 香川保健センター内 2,591千円 ・直営 1か所(旧センター型) はらこども園内 6,091千円 ・小児科医院に委託(旧センター型) 7,803千円×1か所 子ども・子育て支援交付金事業	NPO法人等に委託(旧ひろば型) 9か所 委託料 週6日開設8,317千円×2か所 週5日開設7,803千円×7か所 加算事業 1,398千円×1か所(出張ひろば) ・直営 1か所(小規模型、経過措置) 香川保健センター内 2,591千円 ・直営 1か所(旧センター型) はらこども園内 6,091千円 ・小児科医院に委託(旧センター型) 7,803千円×1か所 子ども・子育て支援交付金事業	4	子育て支援拠点事業に加え、利用者支援事業についても利用者は年々増加しており、子育て中の親の不安解消に大いに貢献している事業である。	NPO法人等に委託(旧ひろば型) 9か所 委託料 週6日開設8,317千円×2か所 週5日開設7,803千円×7か所 加算事業 1,398千円×2か所(出張ひろば) ・直営 1か所(小規模型、経過措置) 香川保健センター内 2,599千円 ・直営 1か所(旧センター型) はらこども園内 6,238千円 ・小児科医院に委託(旧センター型) 7,803千円×1か所 子ども・子育て支援交付金事業	子育て支援課
53	I	2	(1)	地域子育て推進事業	市(委託、直営)	子育て家庭の不安を軽減するため、保育所等を地域に開放し、育児相談や子育てサークル支援等を行う。	私立保育所及び認定こども園 18か所(委託料500千円/か所) 市立保育所 24か所(直営) 合計42か所で実施	私立保育所及び認定こども園 18か所(委託料500千円/か所) 市立保育所及び認定こども園 25か所(直営)	5	事業を実施した箇所数が設定した数値に達したため	私立保育所及び認定こども園 16か所(委託料500千円/か所) 市立保育所及び認定こども園 26か所(直営)	こども園総務課 こども園運営課
54	I	2	(1)	はじめてのパパマ教室	市	はじめての出産を迎える夫婦を対象に、妊娠中の生活や出産・育児について講義と実習を行う。	日曜日コース(桜町12回、地区4回)平日コース4回、合計20回の実施予定である。今後もこの教室により、父親の育児参加の促進を勧めていく。 平成29年度以降は、各総合センター(仮称)での実施を予定している。	日曜コース(桜町12回、地区4回)平日コース4回、合計20回実施。	5	計画通りの実施ができた。この教室により、出産前後の父親の役割を伝え、沐浴・着替え体験をしてもらいながら育児参加の促進が図れた。	日曜コース(桜町12回)平日コース(桜町4回)地区コース(平日1回、土曜1回、日曜6回)計24回実施。 各総合センターで2回実施することにより、全体の回数を増やし、さらなる父親の育児参加の促進を勧める。	保健センター
55	I	2	(1)	子育て力向上応援講座	市	就学時健康診断等の機会を活用し、就学前児童の保護者を対象に、家庭教育の専門家等による講座を開催する。	市立小学校(就学時健康診断):48講座 市立小学校(入学説明会他):48講座 市立幼稚園・こども園:30講座 私立幼稚園、市民グループ:5講座	市立小学校(就学時健康診断):47講座 市立小学校(入学説明会他):49講座 市立幼稚園・こども園:31講座 私立幼稚園:5講座	4	市立の小学校、こども園、幼稚園に関しては計画以上の開催数となった。また、私立の幼稚園での開催も計画通りの開催となった。	市立小学校(就学時健康診断):47講座 市立小学校(入学説明会他):48講座 市立幼稚園・こども園:29講座 市立保育所:10講座 私立幼稚園、市民グループ:5講座	生涯学習課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1～5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
56	I	2	(1)	家庭教育講演会	市	次代を担う子どもたちの健全育成、家庭教育力の向上のため、保護者を対象に専門講師による講演会を開催する。	平成28年10月22日(土) 場所:生涯学習センター 講師:山田 亮氏(家事ジャーナリスト) 演題:「楽家事でいこう~きっと毎日が楽しくなる~(仮)」	平成28年10月22日(土) 場所:生涯学習センター 講師:山田 亮氏(家事ジャーナリスト) 演題:「楽家事でいこう~きっと毎日が楽しくなる~」 参加者数:93人	4	予定通り実施でき、参加者は共催の市P連の協力もあり、少しではあるが増やすことができた。	平成29年10月21日(土) 場所:生涯学習センター 講師:伊丹 恵理奈氏 演題:未定	生涯学習課
57	I IV	2 1	(1) (1)	家庭教育情報テレビ事業	市	7月の家庭教育月間に高松ケーブルテレビ「ホットライン高松」において、家庭教育・子育てに関する情報を放映する。	放送期間:平成28年7月1日~15日 講師:清國 祐二氏(香川大学生涯学習教育研究センター) テーマ:「家庭教育入門講座~大切なルール作り~(仮)」	放送期間:平成28年7月1日~15日 講師:清國 祐二氏(香川大学生涯学習教育研究センター) テーマ:「家庭教育入門講座~大切なルール作り~」	4	予定通り実施できた。	放送期間:平成29年7月16日~31日 講師:横山 喜一郎氏 テーマ:「基本的な生活習慣について」	生涯学習課
58	I	2	(1)	家庭教育学級	市	家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭の教育力の向上を図る。	家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭の教育力の向上を図り、講座参加人数29,700人を目指す。	家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭の教育力の向上を図り、講座参加人数24,219人だった。	4	講座参加人数が目標に達しなかった。	家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭の教育力の向上を図り、講座参加人数29,700人を目指す。	生涯学習センター
59	I	2	(1)	ブックスタート事業	市	4か月児相談の機会を活用し、絵本バックの贈呈、その利用方法と効用を説明し、楽しい子育て、読書への動機付けを図る。	保健センターと連携を図るとともに、ボランティアの協力を得て、保健センターほか各地域コミュニティセンター等で実施している4ヶ月相談時に絵本バックを贈呈し、その利用方法と効用の説明を行うことにより、保護者等の楽しい子育て参加を促し、読書への動機付けを図る。	4か月児相談時に、絵本バックを贈呈し、ボランティアの協力により、読み聞かせ等を行った。また、4か月児相談に参加していない世帯には、保健師が家庭訪問時に絵本バックを贈呈し、計3,287名に絵本バックを贈呈した。	5	配布実績は95%と高い実施率が保てており、着実な成果として表れている。	保健センターと連携を図るとともに、ボランティアの協力を得て、保健センターほか各地域コミュニティセンター等で実施している4ヶ月相談時に絵本バックを贈呈し、その利用方法と効用の説明を行うことにより、保護者等の楽しい子育て参加を促し、読書への動機付けを図る。	中央図書館
60	I	2	(2)	保育所・幼稚園への出前食育事業	市	保育所・幼稚園等において、子どもたちや保護者に講話やエプロンシアター・紙芝居等を実施し、幼児期からの正しい食習慣づくりを支援する。	15か所で開催	市立保育所 6か所 市立幼稚園 4か所 市こども園 2か所	4	事業を実施した箇所数が設定した数値に達しなかったため	15か所で開催	こども園運営課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
61	I	2	(2)	フードスタート運動	市	授乳期・離乳期における健康教育事業の中で、「食」についての講話や関係資料の配布を行う。	授乳期・離乳期及び幼児期における健康教育事業の中で、「食」についての講話や関係資料の配布を行う。また、新たな食育媒体を使用して更なる食育の啓発を行う。	授乳期・離乳期及び幼児期における健康教育事業の中で「食」についての講話や関係資料の配付を行った。252回 3,557人(4か月児相談のみ)	4	授乳期・離乳期及び幼児期における健康教育事業の中で、朝食や共食の大切さ等について周知・啓発を行った。乳幼児期からの食習慣は重量であり、より効果的な啓発方法を検討していく必要がある。	引き続き、授乳期及び幼児期における健康教育事業の中で、朝食や共食の大切さ等について周知・啓発を行う。	保健センター
62	I	2	(2)	早寝早起き朝ごはん運動普及啓発事業	市	子どもの基本的な生活習慣の定着を図るため、就学時健康診断等の機会を活用し、啓発チラシの配布・説明等を行う。	・生活リズムチェック事業(小・中学校)を実施 ・食育フェスタ、学校給食展での啓発コーナーの設置 ・子育て力向上応援講座での啓発活動	・生活リズムチェック事業(小・中学校)を実施 ・食育フェスタ、学校給食展での啓発コーナーの設置 ・子育て力向上応援講座での啓発活動	4	生活リズムチェックシートの調査結果によると、朝ごはん摂取率及び起床時間の達成率は、前年度と同様に高かったが、就寝時刻の達成率がやや低かったため	・生活リズムチェック事業(小・中学校)を実施 ・食育フェスタ、学校給食展での啓発コーナーの設置 ・子育て力向上応援講座での啓発活動	生涯学習課
63	I IV	2 1	(3) (3)	消費生活相談事業	市	市民からの消費生活全般の苦情や問合せに対応し、問題解決のための支援を行う。	消費生活専門相談員4名体制で相談事業実施	相談件数:2,255件	5	相談件数は昨年度より増加しながら、高い問題解決率を保っている。	消費生活専門相談員4名体制で相談事業実施	くらし安全安心課
64	I	2	(3)	子育て相談事業	市	子育てに関する多種多様な相談に、専門の相談員が指導・助言・情報提供などを行う。	これまでと同様に、保育士の資格を持った職員が、専門的な視点から、子育てに不安を持つ保護者の相談に対し、助言や情報提供を行う。	相談件数 221件	4	子育てや育児に行きづまった保護者の方への、助言や指導、また関係機関の情報提供ができた。	児童福祉に見識を持つ職員が、子育てに不安を持つ保護者の相談に対し、助言や情報提供を行う。	子ども女性相談室

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1～5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	I	2	(3)									
65	I	2	(3)	乳幼児相談・育児相談事業	市	保健師や栄養士が乳幼児の成長発達を確認し、栄養・育児等の知識や子育て情報の提供など、子どもの発育・栄養・育児等の相談を行う。	保健師や栄養士が乳幼児の成長発達を確認し、栄養・育児等の知識や子育て情報の提供など、子どもの発育・栄養・育児等の相談を行う。特に、相談支援の必要な家庭、児に対してよりきめ細やかな関わりを持ち支援を継続する。また、NPO法人など子育て支援団体と連携を密にする。	相談事業を実施し、支援の継続が必要な児や家庭に対し、市の関係課や関係機関、NPO法人など子育て支援団体とも連携を密にした。	4	乳幼児相談等で専門職である保健師や栄養士が児の成長発達を確認し、必要な情報提供や相談を実施できた。保健センターと関係課、関係機関が連絡を密にすることできめ細やかな支援を継続することができた。	保健師・栄養士が相談事業を実施し、児の発育・成長を確認し、栄養や育児等の知識や情報提供を行う。支援の継続が必要な児や家庭に対しては、状況により関係課や関係機関とも連携し、きめ細やかな支援につなげていく。	保健センター
66	I	2	(3)	「いじめ110番」電話相談事業	市	いじめ問題の早期発見・対応に生かすため、いじめ110番を設置し、児童・生徒、保護者等からの相談に対応する。	いじめ問題の早期発見・対応に生かすため、いじめ110番を設置し、児童・生徒、保護者等からの相談に対応する。月～金 8:30～19:00	いじめ問題の早期発見・対応に生かすため、いじめ110番を設置し、児童・生徒、保護者等からの相談に対応する。月～金8:30～19:00	5	いじめ相談には児童生徒や保護者等の声に、耳を傾け、学校との連携を図り、いじめの早期発見、早期対応をすることができた。	いじめ問題の早期発見・対応に生かすため、高松市総合教育センター内にいじめ110番を設置し、児童・生徒、保護者等からの相談に対応する。月～金8:30～19:00	学校教育課
67	I	2	(3)	こどもスマイルテレホン事業	市	家庭問題・不登校・非行やいじめ等、子どもに関する悩みの相談窓口として「こどもスマイルテレフォン」を開設する。	相談件数 58件	相談件数 56件	4	相談件数は目標には到達していないが、相談者それぞれの悩みについて、相談窓口としての対応ができた。	相談件数 58件	少年育成センター
68	I	2	(3)	不登校等に関するカウンセラーによる教育相談事業	市(委託、直営)	適応指導教室の児童生徒をはじめ、不登校および不登校傾向の児童生徒やその保護者に対して、継続的な相談活動を行う。	カウンセラー等による相談の機会をさらに広げ、相談体制を充実させる。	カウンセラーによる相談の機会を増やし充実させたことで、目標を上回る実績を得ることができた。	4	目標を上回る実績を得ることができた。	支援係開設に伴い、カウンセラー等による相談の機会をさらに広げ、相談体制を充実させる。(時間増、訪問相談)	総合教育センター
69	I	2	(3)	地域子育て支援拠点事業(再掲) (No. 5.1、5.2)					選択してください			子育て支援課 こども関連高課
70	I	2	(3)	地域子育て推進事業(再掲) (No. 5.3)					選択してください			こども関連高課
71	I	2	(3)	地域に開かれた幼稚園づくり推進事業(再掲) (No. 9.0)					選択してください			こども関連高課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
72	Ⅲ	2	(3)	少年相談員養成事業(再掲) (No. 202)					選択してください			少年育成センター
73	I Ⅲ	3 2	(1) (2)	年長児童の赤ちゃん・出会い・ふれあい事業	市	次代の親づくりとして、命の大切さや家庭の役割等について理解を深めるため、年長児童が乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を開設する。	中学生(9校)を対象に、乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとの学び及び抱き方、遊び方などの体験学習を行う。 子育て支援団体に委託し、実施することとしているが、希望校が増加する中、実施団体に限るがあるため、団体数増を目指す。	中学生(9校)を対象に、乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとの学び及び抱き方、遊び方などの体験学習を行う。 子育て支援団体に委託し、実施することとしているが、希望校が増加する中、実施団体に限るがあるため、団体数増を目指す。	4	平成23年度から開始し、毎年事業内容の拡充が続いている。子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりへの貢献度は大きく、次代の親づくりを促進するとともに少子化対策にも効果的な事業である。	中学生(10校)を対象に、乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとの学び及び抱き方、遊び方などの体験学習を行う。 子育て支援団体に委託し、実施することとしているが、希望校が増加する中、実施団体に限るがあるため、団体数増を目指す。	子育て支援課
74	I	3	(1)	保育所・幼稚園等への芸術士派遣事業	市(委託)	子どもの感性や創造力を育むため、保育所・幼稚園等に芸術士を派遣し、日々の保育の中で、絵画や造形、音楽など様々な表現活動を行う。	子どもの感性や創造力を育むため、保育所・幼稚園等に芸術士を派遣し、日々の保育の中で、絵画や造形、音楽など様々な表現活動を行う。	子どもの感性や創造力を育むため、保育所・幼稚園等に芸術士を派遣し、日々の保育の中で、絵画や造形、音楽など様々な表現活動を行った。	5	当初の予定どおり事業を実施することができた。	子どもの感性や創造力を育むため、保育所・幼稚園等に芸術士を派遣し、日々の保育の中で、絵画や造形、音楽など様々な表現活動を行う。 保育所・子ども園 29か所 幼稚園 11か所	子ども園運営課
75	I	3	(1)	学校巡回芸術・能楽教室	公益財団法人高松市文化芸術財団(委託)	市内の小中学生を対象に、生の芸術鑑賞・体験の機会として、日舞・洋楽、古典芸能等を巡回公演する。	平成28年度においては、歌、洋楽、雅楽、バレエ、影絵劇等の生の優良な鑑賞の機会を提供する。 能楽教室では、能楽・狂言・囃子教室を開催する。	芸術教室 21校9,876名。 能楽教室 6校3,617名。 全27校13,493名が鑑賞した。	4	公演内容の充実度、子どもたちの感想や反応も良く、実施したすべての学校が今後も実施したいとの回答だったから。	平成29年度においては、芸術教室は歌、邦楽、落語、雅楽等の鑑賞の機会を提供する。 能楽においては能楽、囃子、狂言の3項目を実施する。	文化芸術振興課
76	I	3	(1)	ものづくりふれあい教室	高松市生活文化協会(委託)	市内の小中学生を対象に、手作りでものづくりにチャレンジする機会を提供し、もの大切さを体験する。	洋裁、和裁、手芸、マスコット人形の4コース、9メニューで実施する。 洋裁コース・・・コサージュ、かわいい小物入れ、クリスマスマスコット 和裁コース・・・かわいい金魚、お手玉 手芸コース・・・メッセージボトル、スプーンストラップ、ティッシュ入れ マスコット人形コース・・・ウッドビーズ	全21校、28コースを実施した。	4	毎年継続して開催を希望する学校が多いことに加え、複数のコースを希望する学校数も増加しており、事業の成果が上がっているといえる。	洋裁、和裁、手芸、マスコット人形作りの4コース9メニューで実施する。 【洋裁コース】コサージュ、かわいい小物入れ、クリスマスマスコット 【和裁コース】かわいい金魚、お手玉 【手芸コース】メッセージボトル、フォトフレーム、ハンカチも入るティッシュ入れ 【マスコット人形作りコース】ウッドビーズ人形	文化芸術振興課
77	I	3	(1)	美術館学習	市	子どもたちが豊かな感性と未来の鑑賞者としての資質を育むため、美術館での鑑賞・施設学習を実施する。	従来の美術館学習に加えて、子ども未来館学習との連携により、実施参加校20校を予定。	参加校 32校 ・サンクリスタル学習での参加 8校 ・それ以外での参加 24校	5	1年余りの休館後ということで、多くの学校が学習に訪れた。	従来の美術館学習に加えて、子ども未来館学習との連携により、さらに多くの参加を促す。	美術館美術課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	I	3	(1)									
78	I	3	(1)	総合的な学習の時間活性化推進事業	総合的な学習の時間活性化推進事業実施校(補助)	総合的な学習の時間の活性化を図るため、地域社会の人材活用や児童生徒の体験活動の充実を図る。	総合的な学習の時間の活性化を図るために、地域の人材を積極的に活用し、児童生徒の体験活動の充実を図る。	各小・中学校の総合的な学習の時間において、学習の目的に応じた地域人材を活用して、体験活動を大切にしながら、探究的な学習を進めている。	5	各小・中学校で、地域人材を有効活用し、体験活動を大切に学習を進めている。今後は、各小・中学校で、さらに地域人材を開発し、目的に応じて地域人材を活用していくことも考えていく。	総合的な学習の時間の活性化を図るために、地域の人材を積極的に活用し、児童生徒の体験活動の充実を図る。	学校教育課
79	I	3	(1)	子ども環境学習交流事業	市	ごみ処理・廃棄物再生利用施設の見学やリサイクル体験を通じた実証的な環境教育のほか、小・中学校の環境学習の取組みを発表するなど学習交流の活性化を図る。	ごみ処理・廃棄物再生利用施設の見学やリサイクル体験を通じた実証的な環境教育のほか、小・中学校の環境学習の取組みを発表するなど学習交流の活性化を図る。	市内小学校25校、中学校12校より、175名の児童生徒の参加	5	市内の小・中学校の約半数の学校の参加を得た。また、ごみ処理・廃棄物再生利用施設の見学やリサイクル体験を通じた実証的な環境教育及び、各校での環境学習の取組発表により、環境保全意識の高揚がうかがえる感想を得る。	ごみ処理・廃棄物再生利用施設の見学やリサイクル体験を通じた実証的な環境学習の取組みを発表するなど学習交流の活性化を図る。	学校教育課
80	I	3	(1)	水資源教育推進事業	市(県補助)	中学生を対象に、香川用水・水資源の重要性についての理解を深めるため、「香川用水の水源地の旅」を実施する。	中学生を対象に、香川用水・水資源の重要性についての理解を深めるため、「香川用水の水源地の旅」を実施する。	市内中学校17校2,655名の参加	5	市内の中学校の約3分の2以上の学校の参加を得た。池田ダム、早明浦ダムの他、香川用水に関係のある施設を見学することにより、水資源について考える機会となった。	中学生を対象に、香川用水・水資源の重要性についての理解を深めるため、「香川用水の水源地の旅」を実施する。	学校教育課
81	I	3	(1)	職場体験学習	小中学校	児童生徒の実態や発達段階に応じて、社会体験・職場体験活動等を通して、望ましい勤労観・職業観を育む。	児童生徒の実態や発達段階に応じて、社会体験・職場体験活動等を通して、望ましい勤労観・職業観を育む。	児童生徒の実態や発達段階に応じた社会体験・職場体験活動等を通して、望ましい勤労観・職業観を育む。	5	児童生徒は、職場見学や職場体験学習を通して、学ぶことと働くことに関係性に気付いたり、社会的に生きることの尊さを実感したりした。また、事後の学習発表会では、学習で学んだことを、同級生や下級生と共有することができた。	児童生徒の実態や発達段階に応じた社会体験・職場体験活動等を通して、望ましい勤労観・職業観を育む。	学校教育課
82	I	3	(1)	学校教育における食育推進事業	市	学校給食を中心とした食育の取組みを紹介し、食の現状と課題への理解を深めるための「食育セミナー」を開催する。	高松市朝日新町学校給食センターで年4回(7月、8月、11月、3月)実施予定。	高松市朝日新町学校給食センターで年4回(7月、8月、11月、12月)実施。(7月16組、8月11人、11月8組、12月9組参加)	5	調理場見学、収穫体験、料理教室を実施することで、食育について理解の醸成を図り、食育推進することができた。	高松市朝日新町学校給食センターで年4回(7月、8月、11月、12月)実施予定。	保健体育課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
83	I	3	(1)	サンクリスタル学習	市	小学校中高学年を対象に、歴史資料館・菊池寛記念館・図書館での体験学習「サンクリスタル学習」を実施する。	主に小学校6年生を対象に、歴史資料館・菊池寛記念館・図書館での体験学習「サンクリスタル学習」を実施する。	小学校高学年を対象に、歴史資料館・菊池寛記念館・図書館での体験学習「サンクリスタル学習」を実施した。	5	小学校高学年の行事としてほぼ定着しており、参加校は前年度を上回った。	主に小学校6年生を対象に、歴史資料館・菊池寛記念館・図書館での体験学習「サンクリスタル学習」を実施する。	歴史資料館 菊池寛記念館 中央図書館
84	I	3	(1)	伝統的ものづくり学校巡回教室	市(伝統的ものづくり関係事業者へ体験教室の委託)	高松市の伝統的ものづくりに関する理解と関心を深める普及啓発、人づくりの推進を目的とし、地域の伝統的ものづくりにふれあい、学ぶ体験の場であると同時に、未来を担う小中学生のシビックプライドの醸成・職業選択につながるもの、場を創出する。	次代を担う子どもたちが伝統的ものづくりに関する理解と関心を深めるとともに、高松の歴史とともに発達した伝統的ものづくりに関する教育の推進、自分の住んでいる都市に対して「誇り」や「愛着心」の醸成に寄与することを目的に、伝統的ものづくりを行う職人を学校へ派遣しワークショップを開催する。 ・香川漆器コース(3校 約150名) ・庵治石コース(3校 約150名)	伝統的ものづくりの職人を派遣し、高松市内の小中学校にてワークショップを開催した。 ・香川漆器コース(3校 約139名) ・庵治石コース(3校 約141名)	5	当初予定通り6校の小中学校にてワークショップを開催。地域の伝統的ものづくりにふれあい、学ぶ場を提供するとともに、自分の住んでいる都市に対する「誇り」や「愛着心」の醸成に寄与することができたと考えられるため。	伝統的ものづくりを行う職人を学校へ派遣しワークショップを開催する。予算縮小により平成28年度より規模を縮小して開催予定。 ・香川漆器コース(約75名) ・庵治石コース(約75名)	産業振興課
85	I	3	(1)	交通安全教室(再掲) (No. 109)					選択してください			くらし安全安心課
86	I	3 I 1	(2) (2)	みんなで人権を考える会	市、高松市人権教育推進協議会人権尊重都市たかまつ市民会議(共催)	人権意識の普及・高揚を図るため、幼児児童生徒・保護者・社会教育団体等による人形劇・合唱の発表などを行う「みんなで人権を考える会」を開催する。	「みんなで人権を考える会2016」をサンポート高松 大ホールで開催する。	平成28年7月24日「みんなで人権を考える会2016」をサンポート高松 大ホールで開催し、約500名の参加者があった。(出演団体)高松第一高等学校、手話学習会さくらんぼ、多肥小学校・多肥スィングベル、香南中学校有志、大野幼稚園4・5歳児と保護者	4	出演団体や内容を工夫し、参加者を増やす取組が必要である。	「みんなで人権を考える会2017」をサンポート高松 大ホールで開催する。	人権教育課
87	I	3	(2)	人権教育研修	市	様々な人権問題の解決を図るため、幼稚園・小中学校ごとにPTAを対象とした人権・同和教育に関する講演会等を開催する。	5市こども園・25市立幼稚園・48小学校・23中学校・1高等学校で開催。	5市こども園・25市立幼稚園・47小学校・23中学校・1高等学校で開催。延べ27,405名参加	4	すべての市立幼稚園・小中学校・高等学校において開催できた。	5市こども園・25市立幼稚園・47小学校・23中学校・1高等学校で開催。	人権教育課
88	I	3	(3)	消費生活教育出前講座	市	新しい時代に対応できる自立した消費者の育成・意識高揚のため、金銭教育の一環として、買い物テーマとした小学生高学年対象の出前講座を実施する。	新しい時代に対応できる自立した消費者の育成・意識高揚のため、金銭教育の一環として、買い物テーマとした小学高学年対象の出前講座を実施する。	実施回数:10回	4	事業実施後の感想文等から理解度や満足度が高かったことが確認されたが、実施回数は昨年度より1回下回った。	新しい時代に対応できる自立した消費者の育成・意識高揚のため、金銭教育の一環として、買い物テーマとした小学高学年対象の出前講座を実施する。	くらし安全安心課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	I	II	III									
89	I	3	(3)	放課後子ども教室	市	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の人々の参画のもと、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する。	新たに3校区での開設を目指す。	放課後子ども教室を33校区で実施した。	3	放課後子ども教室未実施校区に対して、開設への働きかけを行ったものの、平成28年度は、新規開設校区が増えなかったため。	新たに2校区での開設を目指す。	子育て支援課
	I	4	(3)									
	III	1	(3)									
90	I	3	(3)	地域に開かれた幼稚園づくり推進事業	市	幼稚園を地域に開放し、園庭開放や園児と未就園児親子の交流活動、子育て情報提供・相談等を実施する。	幼稚園を地域に開放し、園庭開放や園児と未就園児親子の交流活動、子育て情報提供・相談等を実施するとともに、安心して参加できるよう環境整備を行う。	幼稚園を地域に開放し、園庭開放や園児と未就園児親子の交流活動、子育て情報提供・相談等を実施するとともに、安心して参加できるよう環境整備を行った。	5	当初の予定どおり事業を実施することができた。	幼稚園を地域に開放し、園庭開放や園児と未就園児親子の交流活動、子育て情報提供・相談等を実施するとともに、安心して参加できるよう環境整備を行う。	こども園運営課
	I	2	(3)									
91	I	3	(3)	子ども動物愛護教室	市	子どもの頃から動物の正しい飼い方・接し方を身につけるため、夏休み中に放課後児童クラブ等において、クイズやゲームを用いた動物愛護教室を実施する。	夏休み親子教室は動物愛護の応募者が予測を超えてかなりの数があったこと、また、本当の動物のふれあいを通しての学習であるため、伝わりやすいことなどから、本年度については、開催数を増やす予定である。	放課後児童保育の小学生を対象とし、動物愛護教室を出前開催した。また、夏休み自由研究のテーマとしてとりあげられるよう、夏休み親子教室を開催し、動物のふれあいを通して、動物愛護を啓発した。実施回数:16回 受講人数:639人	5	夏休みが短縮され、出前教室の回数が減ったが、親子教室の回数を増やし、動物愛護に関心のある親子に対し、周知啓発ができた。	夏休み親子教室は動物愛護の応募者が予測を超えてかなりの数があったこと、また、本当の動物のふれあいを通しての学習であるため、伝わりやすいことなどから、本年度については、費用対効果がありみられない出前教室にかわり、親子教室へシフトしていくことを検討している。	生活衛生課
	I	4	(3)									
92	I	3	(3)	学校体育施設開放事業	市	市内全小学校体育施設(自主管理方式)と中学校は指定校方式で、学校体育施設の開放を行う。	市民の体力づくりや健康増進を始め、余暇の利用にも寄与する、身近で有益なスポーツ施設としての学校体育施設について、学校教育活動に留意する中で開放を行うとともに、中学校体育施設の開放事業のうち、体育館については利用率が高く飽和状態にあることから、新規の体育館等開放校数の拡大を図る。	利用者数 47,590人	4	市内中心地の中学校体育館の修繕工事が終了し、利用再開に伴い利用者が増加。	市民の体力づくりや健康増進を始め、余暇の利用にも寄与する、身近で有益なスポーツ施設としての学校体育施設について、学校教育活動に留意する中で開放を行う。	スポーツ振興課
93	I	3	(3)	スマイルあいさつ運動	市	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環とし「スマイルあいさつ運動」を実施する。	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環とし「スマイルあいさつ運動」を実施する。	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環とし「スマイルあいさつ運動」を実施する。	5	高松市内の全小学校で実施された。この活動を通して、地域の方は、児童生徒の健やかな成長を地域をあげて取り組む必要性を再認識し、学校や児童・生徒は地域の方とあいさつを通して触れ合うことで、地域の方に見守られているということを実感することができた。	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環とし「スマイルあいさつ運動」を実施する。	学校教育課
	III	1	(3)									

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	I	3	(3)									
94	I	3	(3)	学校評議員制度推進事業	市	地域社会に開かれた学校づくり、家庭・地域との連携協力、特色ある教育活動の展開のため、保護者や地域の意見を幅広く聞く場として、学校評議員会を設置する。	地域社会に開かれた学校づくり、家庭・地域との連携協力、特色ある教育活動の展開のため、保護者や地域の意見を幅広く聞く場として、学校評議員会を設置する。	学校評議員会を設置することで、地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携しながら、特色ある教育活動を展開することができた。	5	地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携しながら、特色ある教育活動を展開することができたため。	地域社会に開かれた学校づくり、家庭・地域との連携協力、特色ある教育活動の展開のため、保護者や地域の意見を幅広く聞く場として、高松型地域学校連携システム(仮称)への移行を目指す。	学校教育課
95	I	3	(3)	中学校運動部活動講師派遣事業	市	運動部活動のうち、技能の取得過程で危険を伴う競技(柔道・剣道・なぎなた)を対象に、専門性等に優れた外部指導者を派遣する。	武道部活動の指導ができる教員がいない学校からの希望に対し、高い専門性と優れた人間性を有する指導者を講師として委嘱・派遣する。	外部指導者について、柔道3人、剣道5人、なぎなた1人を9校に派遣した。	5	講師派遣希望があった全学校に講師を委嘱・派遣し、生徒への技術的な面や精神的な面での指導、並びに部活動担当教員に対して指導方法等の助言ができた。	武道部活動の指導ができる教員がいない学校からの希望に対し、高い専門性と優れた人間性を有する指導者を講師として委嘱・派遣する。	保健体育課
96	I	3	(3)	青色パトロールによる巡回強化事業	市	視認性の高い青色回転灯を広報車に整備し、児童・生徒の安全確保を図るため、登下校時等に巡回活動を実施する。	青色回転灯付き公用車による巡回回数 750回	青色回転灯付き公用車による巡回回数 820回	5	通常ルートの登下校時の巡回活動はもとより、危険性・緊急性の高い事案の発生した地域には臨時に巡回活動を実施した。	青色回転灯付き公用車による巡回回数 750回	少年育成センター
97	I	3	(3)	総合的な学習の時間活性化推進事業(再掲)(No. 78)					選択してください			学校教育課
98	I	3	(3)	P.T.A地域活動促進事業(再掲)(No. 191)					選択してください			生涯学習課
99	I	4	(1)	高松市民大学・屋島カレッジ事業	高松大学生涯学習教育センターと共催	市民の教養を高め地域文化の振興を図る「高松市民大学」、歴史・文化・自然・観光など郷土の良さの再確認を図る「屋島カレッジ」など、高松大学と共催で各種講演会を開催する。	市民の教養を高め地域文化の振興を図る「高松市民大学」、歴史・文化・自然・観光など郷土の良さの再確認を図る「屋島カレッジ」など、高松大学と共催で各種講演会を開催し、講座参加人数1,170人を目指す。	市民の教養を高め地域文化の振興を図る「高松市民大学」、歴史・文化・自然・観光など郷土の良さの再確認を図る「屋島カレッジ」など、高松大学と共催で各種講演会を開催し、講座参加人数896人だった。	3	講座参加人数が目標に達しなかった。	市民の教養を高め地域文化の振興を図る「高松市民大学」、歴史・文化・自然・観光など郷土の良さの再確認を図る「屋島カレッジ」など、高松大学と共催で各種講演会を開催し、講座参加人数1,170人を目指す。	生涯学習センター
100	I I	4 5	(1) (1)	センター利用促進事業	市	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるようコンサートや映画上映会のほか、関心の高い趣味・教養分野の講座を開催する。	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるようコンサートや映画上映会のほか、関心の高い趣味・教養分野の講座を開催し、講座参加人数2,800人を目指す。	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるようコンサートや映画上映会のほか、関心の高い趣味・教養分野の講座を開催し、講座参加人数2,317人だった。	4	講座参加人数が目標に達しなかった。	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるようコンサートや映画上映会のほか、関心の高い趣味・教養分野の講座を開催し、講座参加人数2,800人を目指す。	生涯学習センター

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	I	4	(1)									
101	I	4	(1)	まなびCAN・CSR教室	市	CSR(企業の社会的責任)という考え方にに基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催する。	CSR(企業の社会的責任)という考え方にに基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催し、講座参加人数790人を目指す。	CSR(企業の社会的責任)という考え方にに基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催し、講座参加人数793人だった。	5	講座参加人数は、目標を上回った。	CSR(企業の社会的責任)という考え方にに基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催し、講座参加人数790人を目指す。	生涯学習センター
102	I	4	(1)	他団体との連携事業	市	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催する。	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催し、講座参加者数315人を目指す。	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催し、講座参加者数853人だった。	5	講座参加人数は、目標を上回った。	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催し、講座参加者数315人を目指す。	生涯学習センター
103	I	4	(1)	遺跡発掘現場等公開事業	市	市内の遺跡発掘調査現場の調査成果(遺構・遺物)を、現地で速報的に公開する。(毎年2~5回程度、不定期に開催)	市内の遺跡発掘調査現場の調査成果を、現地で速報的に公開する(2~5回程度、不定期に開催)	石清尾山古墳群の稲荷山北端1号墳及び稲荷山1号墳の現地公開を実施した。	3	平成28年度は、例年実施している石清尾山古墳群の現地説明会の当日の天気の影響が現地説明会実施時間近くまでずれ込み、参加者の判断がしにくかったことによる。また、発掘現場の都合等により現地説明会の開催数が例年より少なかった。	市内の遺跡発掘調査現場の調査成果を現地で速報的に公開する(2~5回程度、不定期に開催)	文化財課
104	I	4	(1)	出前(出張)埋蔵文化財事業	市	市内の埋蔵文化財(高松城跡・屋嶋城跡・石清尾山古墳群等)について、学校や市内の各種団体等の依頼により、現地等で説明・周知活動を行う。	市内の埋蔵文化財(高松城跡・屋嶋城跡・石清尾山古墳群等)について、前年度に引き続いて実施する。	市内の埋蔵文化財(高松城跡・屋嶋城跡、石清尾山古墳群等)についての出前講座を実施した。	3	平成27年度末までの出前埋蔵文化財の解説依頼の大きな割合を占めていた屋嶋城跡城門の整備が27年度末で完了し、28年度からは、自由に整備地への見学が可能となったことにより、屋嶋城見学の依頼数・参加者数が減少したことによる全体の参加者数の減少。	市内の埋蔵文化財(高松城跡、屋嶋城跡、石清尾山古墳群等)について、前年に引き続いて実施する。	文化財課
105	I	4	(1)	文学探訪事業	実行委員会(補助)	県内・近県の文学館や文学ゆかりの地を訪ね、文学への理解と関心・教養の向上に資するため文学探訪を実施する。	高知方面の文学にゆかりのある地を訪ね、文学への理解と関心・教養の向上に資するため文学探訪を10月中~下旬に募集定員40人の日帰りバスツアーで実施する。	10月24日に高知県香美市の吉井勇記念館、やなせたかし記念館を訪ね、文学への理解と関心・教養の向上に資するため文学探訪を実施した。	4	土砂災害の影響で狭い道路を通るためにバスを小さいものにして参加人数は少なくなったが、目的自体は概ね達成している。	姫路市方面の文学にゆかりのある地を訪ね、文学への理解と関心・教養の向上に資するため文学探訪を10月下旬に募集定員40人の日帰りバスツアーで実施する。	菊池寛記念館

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
106	I	4	(1)	文芸講座	市	郷土で活躍する作家や歌人、大学教授などを講師に、幅広い分野の親しみやすい文学講座を開催する。	郷土で活躍する作家や歌人、大学教授などの文化人を講師に、幅広い分野の親しみやすい文学講座(1回の定員80人)を菊池寛顕彰会と共催で年間10回開催する。	6月~3月の期間、毎月第1土曜日に、地域文芸の振興を図るため、郷土で活躍する大学教授などを講師に幅広い分野の親しみやすいテーマで文芸講座を10回開催した。	4	成果は上がっているが、受講人数が目標に達していない回があるので、共催の菊池寛顕彰会の協力も得ながら、より多くの市民が参加したくなるような工夫が必要。	郷土で活躍する作家や歌人、大学教授などの文化人を講師に、幅広い分野の親しみやすい文学講座(1回の定員80人)を菊池寛顕彰会と共催で年間10回開催する。	菊池寛記念館
107	I	4	(1)	ふるさと探訪事業(再掲) (No. 4-1)					選択してください			文化財課
108	I	4	(2)	節水など水に関する教育	市	「上下水道知ってトーク」を開催し、水環境についての理解と協力・意見交換を図るほか、節水など実践行動につなげるため、コミュニティセンター・学校等に出向き説明を行う。	「水の上手な使い方」や「節水」をテーマとした「上下水道知ってトーク」を実施する。また、イベント等で機会をとらえ、様々な方法で水の有効利用を呼びかけるとともに、節水器具を紹介する。	11回	5	災害時等も含め、節水への意識が高まりっており、目標値を上回り、目標を達成している。	「水の上手な使い方」や「節水」をテーマとした「上下水道知ってトーク」を実施する。また、イベント等で機会をとらえ、様々な方法で水の有効利用を呼びかけるとともに、節水器具を紹介する。	水環境対策室 企業総務課
109	I I I	4 1 3	(2) (1) (1)	交通安全教室	市	市民の交通安全意識の向上を図るため、幼稚園児・小学生のほか高齢者を対象とし、年齢に応じた交通安全教室を実施する。	市民の交通安全意識の向上を図るため、年齢層に応じた交通安全教室を引き続き実施する。	実施回数:1,337回	4	実施回数が昨年度より55回減少したことを踏まえ、地域での効果的な実施方法等について、今後検討する余地があるため。	市民の交通安全意識の向上を図るため、年齢層に応じた交通安全教室を引き続き実施する。	くらし安全安心課
110	I	4	(2)	市政出前ふれあいトーク事業	市	市政の仕組みや取り組んでいる事業・施策、今後の検討課題等について、設定テーマに応じて、出向き説明および情報提供・意見交換を行う。	市政出前ふれあいトークのPR・受付業務	広報たかまつを始め、本市ホームページやプレスリリースなどを活用し、効果的にPRを行った。	4	実施回数が、目標値を上回ることができた。	市政出前ふれあいトークのPR・受付業務	広聴広報課
111	I	4	(2)	市場DE自由研究事業	市中央卸売市場運営協議会	市場見学等により、生鮮食料品等に触れる機会の提供、市場の機能や流通システム等について学習する。	青果部、水産物部、花き部について2回ずつ、合計6回実施予定。	青果部、水産物部、花き部について親子2人一組で、毎回15組ずつ募集し、各部2回ずつ、合計6回実施した。毎回、約2倍の応募があり、抽選となった。	5	毎回多数の応募をいただき、抽選を行っている。夏休みの自由研究が完成するように、視覚・嗅覚・触覚・味覚で感じ取れる体験型の内容に務めており、アンケートでも満足度が高い。	青果部、水産物部、花き部について2回ずつ、合計6回実施予定。	中央卸売市場業務課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	I	II	III									
112	I	4	(2)	自主防災組織等育成(資機材助成)・自主防災力強化・自主防災訓練支援のための非常食品の助成)事業	地域コミュニティ協議会 自主防災組織(補助)	大規模災害時の防災活動に対応できるよう、コミュニティ協議会等と連携し、包括的自主防災組織を結成するほか、地域の実践的な防災訓練に使用する非常食品の助成などの支援・経費補助を行う。	地域の実践的な防災訓練に使用する非常食品を全てのコミュニティに助成するなどの支援を行う。	地域の実践的な避難訓練に使用する非常食品を44コミュニティの内、39コミュニティに助成し、訓練を実施した。	4	地域の実践的な防災訓練に使用する非常食品の助成が100%になるように目指したが、88.6%の助成となった。	地域の実践的な防災訓練に使用する非常食品を44コミュニティ全てに助成するなどの支援を行う。	予防課
113	I II	4 2	(2) (1)	早明浦ダム周辺ボランティア清掃事業	市	水源地への感謝を表し水源地域との交流を図るため、毎年11月の湖畔マラソン前にダム周辺の清掃活動を実施する。	11月に、早明浦ダムで開催される湖畔マラソンのコースとなる道路の清掃を実施。参加者は、上下水道局広報紙「みんなの水」等で募集。事業費はバス賃借料等。 地元水源については、地元団体の清掃実施に合わせ、実施予定。	早明浦ダム周辺ボランティア清掃は、11月に実施し、公募市民62名を含む154名が参加した。 地元水源地清掃については、12月に奈良須池の清掃を行った。	5	公募参加者数が公募応募人数を大幅に超えており、目標を十分に達成している。	11月に、早明浦ダムで開催される湖畔マラソンのコースとなる道路の清掃を実施。参加者は、上下水道局広報紙「みんなの水」等で募集。事業費はバス賃借料等。 地元水源については、地元団体の清掃実施に合わせ、実施予定。	企業総務課
114	I	4	(2)	家庭・地域の教育力向上推進事業(再掲)(No. 177)					選択してください			生涯学習課
115	I	4	(3)	児童館事業	市	子どもの遊びの拠点・居場所として、遊びや生活を通して子どもの発達の増進を図るほか、子育て家庭への相談・援助、交流の場の提供等を行う。	利用人数 55,000人	利用人数 70,494人	5	目標値を大幅に上回っており、児童の健全育成と、子育て中の保護者の居場所づくりなどに貢献している。	利用人数 55,000人	子育て支援課
116	I III	4 1	(3) (3)	子どもわくわく体験支援事業	実施団体(補助)	子どもの創造力や積極性・社会性を育む機会として、市内の自然・歴史・町並み等を活用した体験活動を実施する団体等への助成を行う。	団体数・・・5団体。 団体が実施するイベントの視察を行う。	団体数・・・5団体 参加人数・・・214人 ①マイシアター高松 高学年キャンプ2016 「THE鉄腕CAMP」 ②ガールスカウト竹細工・第4弾！ 親子でチャレンジ！ ③なわ×なわジャンプ！ Vol.7～なわとびの楽しさ無限大！～ ④和の食文化を見直そう！ 『みそ作り』調理体験 ⑤わいわい寺子屋～春の公園でアウトドア体験～	5	募集団体数上限の5団体からの申し込みがあった。昨年度から引き続き活動をしている団体に加えて、新たな団体からの申請もあり、子どもが日常的な環境から離れた体験活動ができる機会を与えることができた。また、実施するイベントを視察することによって、現状を知り、今後の生涯学習施策へ活かすことができた。	団体数・・・5団体。 団体が実施するイベントの視察を行う。	生涯学習課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	I	III	(3)									
117	I	III	4 1 (3)	新春子どもフェスティバル	市	毎年2月第1日曜日に中央公園を中心に、校区対抗「かるたとり・ドッジボール・すもう大会」、自由参加の創作コーナー等多彩なプログラムで開催する。	開催予定日:平成29年2月5日(日) 場所:高松市立中央公園、市役所、四番丁スクエア、体育館 内容:校区対抗(かるたとり、ドッジボール、すもう)自由参加(創作コーナー、遊び名人コーナーほか)	開催日:平成29年2月5日(日) 場所:市役所、四番丁スクエア体育館 内容:校区対抗(かるたとり)自由参加(創作コーナー、遊び名人コーナーほか) 参加人数:約2,500人	4	天候のため、室外での行事は中止になったが、実施したかるたとり大会の参加人数が、平成27年度(430人)に比べ、28年度(440人)は増えたため。	開催予定日:平成30年2月4日(日) 場所:高松市立中央公園、市役所、四番丁スクエア、体育館 内容:校区対抗(かるたとり、ドッジボール、すもう)自由参加(創作コーナー、遊び名人コーナーほか)	生涯学習課
118	I	III	4 1 (3)	子ども会フットベースボール大会	市	子ども達がスポーツを通して交流し友情を育む機会として、校区子ども会を対象にフットベースボール大会を開催する。	開催予定日:平成28年9月4日(日) 開催場所:高松市西部運動センター	開催日:平成28年9月4日(日) 開催場所:高松市西部運動センター 参加チーム:男子の部20チーム、女子の部16チーム 人数:約400人	4	H27年度は雨天のため中止になったが、H28年度は予定通り開催でき、また、参加チームもH26年度(男子18チーム、女子15チーム)より男子、女子ともに増え、大きな混乱もなく実施できたため	開催予定日:平成29年9月3日(日) 開催場所:高松市西部運動センター	生涯学習課
119	I	III	4 1 (3)	高松・嶺北子ども交歓会	市	市の水源地である早明浦ダム周辺・嶺北地域の子も達と市の子も達が交流し、水の大切さや有効利用を学び、集団活動を通して友情を育む機会として、交歓会を開催する。	開催予定日:平成28年12月3日~12月4日(1泊2日) 場所:生涯学習センター、御殿浄水場、水道資料館ほか 共催:高松市子ども会育成連絡協議会	開催日:平成28年12月3日~4日(1泊2日) 場所:魚市場、こども未来館、香南歴史民俗郷土館、内場ダムほか 共催:高松市子ども会育成連絡協議会	5	計画通り実施できた。 なお、見学場所等について参加児童にとってより思い出深いものとなるよう配慮した。	開催予定日:平成29年11月3日~4日(1泊2日) 場所:生涯学習センター、御殿浄水場、水道資料館ほか 共催:高松市子ども会育成連絡協議会	生涯学習課
120	I	III	4 1 (3)	こども農園事業	市(農園主補助)	子どもが生活の中で自然と取組み、土に親しみ植物を育てる喜びと勤労の尊さを体験する機会として、農園主にこども農園事業として助成し、校区の子ども会等が活用する。	市内12校区17農園	市内11校区15農園	4	校区、農園とも微量ではあるが平成27年度(10校区15農園)より増加した。	市内12校区17農園	生涯学習課
121	I	I	4 5 (3)	埋蔵文化財センター体験学習	市	埋蔵文化財への興味・関心を高めるため、四番丁スクエア内の埋蔵文化財センターで、鋳造・瓦製作体験学習を行う。	鋳造・瓦製作等の体験学習 その他体験学習行事 (夏休み限定の体験学習を実施予定)	・鋳造・瓦製作・勾玉製作等の体験学習 ・出前体験学習 ・夏休み限定体験学習 ・新春子どもフェスティバル共催体験学習	5	他のイベントとの共催事業や市役所全体での夏休み関係講座のチラシに掲載を依頼するなどの効果により、当初の想定を上回る実績を上げることができた。	鋳造・瓦製作・勾玉製作等の体験学習 その他、体験学習行事 (夏休み限定の体験学習を実施予定)	文化財課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	I	4	(3)									
122	I	4	(3)	香南歴史民俗郷土館工作教室	市	香南歴史民俗郷土館で、夏休みを中心に、郷土の歴史文化を体験する、子ども工作教室を開催する。	H28年度10講座開催予定 「勾玉を作ろう」7/22 「親子お手玉教室」7/23 「化石のレプリカを作ろう」7/24 「手習草子(書道教室)」7/29 「プリザーブドフラワー教室」7/30 「土鈴を作ろう」8/2 「土笛を作ろう」8/5 「化石のクリーニング」8/7 「ミニ土偶を作ろう」8/10 企画展関連講座「自動車プラモをつくろう」8/11	H28年度10講座開催 「勾玉を作ろう」7/22 「親子お手玉教室」7/23 「化石のレプリカを作ろう」7/24 「手習草子(書道教室)」7/29 「プリザーブドフラワー教室」7/30 「土鈴を作ろう」8/2 「土笛を作ろう」8/5 「化石のクリーニング」8/7 「ミニ土偶を作ろう」8/10 企画展関連講座「自動車プラモをつくろう」8/11	5	積極的な広報活動等により、前年度と比べ実績が増加し、目標値を上回った。	H29年度10講座開催予定(仮称) 「勾玉を作ろう」 「親子お手玉教室」 「化石のレプリカを作ろう」 「手習草子(書道教室)」 「プリザーブドフラワー教室」 「土鈴を作ろう」 「土笛を作ろう」 「化石のクリーニング」 「ミニ土偶を作ろう」 企画展関連講座「プラモをつくろう」	香南歴史民俗郷土館
123	I	4	(3)	伝統的ものづくり夏休み親子体験教室	市(伝統的ものづくり関係事業者へ体験教室の委託)	親子で本市の伝統的ものづくりへの理解と関心を深め、普及啓発を図ることを目的とし、夏休みの宿題解決や子どもと大人が一緒に地域の伝統的ものづくりにふれあい、学ぶ体験の場にすると同時に、シビックプライドの醸成につながる場を創出する。	地域の歴史と合わせて発達した、伝統的ものづくりの理解と関心を深めるため、夏休み期間中に親子で体験できる教室を実施する。(5コース×2回/各回定員親子15組)	伝統的ものづくり親子体験教室を、7月25日(月)2コース、7月28日(木)3コースを開催。(各コース、午前と午後2回)各回定員親子15組、総勢150組の親子が参加。	5	総定員150名に対し、391名の応募があった。伝統的ものづくりに対する理解と関心が高く、有意義な普及活動であったと考えられるため。	産業振興課分はゼロ予算。たかまつミライエと共同で実施予定。平成28年度同様、夏休み期間中に親子で体験できる教室を開催予定。(5コース×2回/各回定員親子15組)	産業振興課
124	I	4	(3)	放課後子ども教室(再掲)(No. 89)					選択し てくた さい			子育て支援課
125	I	4	(9)	子ども動物愛護教室(再掲)(No. 91)					選択し てくた さい			生涯学習課
126	I	4	(3)	親子文化財教室(再掲)(No. 42)					選択し てくた さい			文化財課
127	I	5	(1)	視聴覚ライブラリー	市	視聴覚教材・機材等の利用促進を図るため、教材・機材の貸出・保存を行う。	視聴覚教材・機材等の利用促進を図るため、教材・機材の貸出・保存を行う。	視聴覚教材・機材等の利用促進を図るため、教材・機材の貸出・保存を行った。	5	計画どおり実施した。	視聴覚教材・機材等の利用促進を図るため、教材・機材の貸出・保存を行う。	生涯学習センター

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	1	5	(1)									
128	1	5	(1)	センター利用促進事業(再掲)(No.100)					選択してください			生涯学習センター
129	1	5	(1)	まなびCAN・CSR教室(再掲)(No.101)					選択してください			生涯学習センター
130	1	5	(1)	他団体との連携事業(再掲)(No.102)					選択してください			生涯学習センター
131	I	5	(2)	コミュニティセンター整備事業	市	コミュニティセンターの改築について、現施設の有効活用を基本とした中期整備指針を策定し、これに基づき実施する。	①西植田コミュニティセンター耐震・補強・改修工事 ②東植田コミュニティセンター建築工事 ③木太コミュニティセンター改築実施設計 ④川岡コミュニティセンター改築実施設計 ⑤屋島コミュニティセンター改築基本設計	①西植田コミュニティセンター耐震・補強・改修工事(しゅん工) ②東植田コミュニティセンター建築工事(しゅん工) ③木太コミュニティセンター改築実施設計(完了) ④川岡コミュニティセンター改築基本設計(完了) ⑤川岡コミュニティセンター土壌汚染調査(H29繰越) ⑥屋島コミュニティセンター改築基本設計(H29繰越) ⑦次期整備計画策定業務委託(H29繰越)	4	川岡については、9月補正にて実施設計予算を措置したものの、その後、想定外の土壌汚染調査命令が下り、実施設計に着手ができなかった。また、屋島については工法の検討や地元の調整等に時間を要し、基本設計が完了できなかった。次期計画についても仕様の検討等に時間を要し、年度内完了ができなかった。	①次期整備計画策定 ②木太コミセン解体工事 ③木太コミセン改築工事 ④屋島コミセン基本設計 ⑤木太コミセン基本設計 ⑥川岡コミセン実施設計	地域振興課
132	1	5	(2)	コミュニティセンター講座(再掲)(No.18)					選択してください			生涯学習センター
133	1	5	(2)	高齢者教室(再掲)(No.19)					選択してください			生涯学習センター
134	1	5	(2)	女性教室(再掲)(No.20)					選択してください			生涯学習センター

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	1	2	3									
135	1	5	(2)	コミュニティーセンター同好会事業(再掲)(No. 172)					選択してください			生涯学習センター
136	1	5	(2)	生涯学習推進員養成研修(再掲)(No. 195)					選択してください			生涯学習センター
137	1	5	(2)	コミュニティーセンターだよりの発行(再掲)(No. 226)					選択してください			生涯学習センター
138	1	5	(2)	コミュニティーセンター等パソコン講習会(再掲)(No. 240)					選択してください			生涯学習センター
139	I	5	(3)	エコホタルの利用促進事業	市	南部クリーンセンターの施設見学、親子リサイクル工作会、環境パネル・インターネット情報提供を実施する。	・施設見学、体験学習事業(紙すき等) ・施設紹介・分別収集啓発用パンフレットの印刷及び配布 ・夏休み親子工作会予定日:7/21、7/25、8/8、8/9、8/10、8/12 夏休み親子見学会予定日:7/22、8/1(2回)、8/3、8/17、8/18	計画どおり実施できた。	4	利用者は増加しているが、事業内容の見直しも必要である。	・施設見学、体験学習事業(紙すき等) ・施設紹介・分別収集啓発用パンフレットの印刷及び配布 ・夏休み親子工作会 6回開催予定 ・夏休み親子見学会 6回開催予定	南部クリーンセンター
140	I	5	(3)	特別展・常設展等展示事業	市	近代絵画や工芸、サブカルチャーなど幅広いジャンルをバランスよく企画し、特別展・常設展を開催する。	特別展13回、常設展8回の実施を予定。	(市美術館)特別展6展(41,920人)、常設展5展(22,492人) (塩江美術館)企画展8展(6,283人)、常設展3展(6,178人)	5	設定した目標が達成され、十分成果が上がっているため。	特別展13回、常設展7回の実施を予定。	美術館美術課
141	I IV	5 1	(3) (2)	瀬戸内アートネットワーク事業	市	近隣美術館との連携を図るため、県内主要美術館で、共通パンフレットの作成、入館割引やスタンプラリーを実施する。	スタンプラリーを実施する。	スタンプラリー応募者数 231人	4	設定した目標が達成され、十分成果が上がっているため。	スタンプラリーを実施する。	美術館美術課
142	1	5	(3)	子どものアトリエ事業	市	展覧会関連事業として、表現の可能性を楽しんでもらう美術講座「子どものアトリエ」を開催する。	こども+(こどもアートスペース)を活用し、「子どものアトリエ」等を実施する。	実施回数 3回ほか「ふらっとアート」 参加者数 863人	5	設定した目標が達成され、十分成果が上がっているため。	こども+(こどもアートスペース)を活用し、「子どものアトリエ」等を実施する。	美術館美術課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	I	5	(3)									
143	I	5	(3)	アートで遊ぼう! (鑑賞プログラム)	市	鑑賞教育の充実を図るための鑑賞プログラム「アートで遊ぼう!」を実施し、学芸員とともに美術作品の鑑賞を行う。	「アートで遊ぼう!」を実施する。	実施回数 7回 参加者数 66人	5	設定した目標が達成され、十分成果が上がっているため。	「アートで遊ぼう!」を実施する。	美術館美術課
144	I	5	(3)	企画展・常設展等 展示事業	市	原始・古代から現代までの高松の歴史を常設展示・企画展・収蔵品展・ロビー展等を開催し、収蔵資料を紹介・公開する。	原始・古代から現代までの高松の歴史を常設展示、収蔵品展「高松藩・狩野派」、企画展「心を豊かにするデザイン」、「高松藩校講道館(仮称)」、収蔵品展「奥の坊遺跡(仮称)」、ロビー展等を開催し、収蔵資料を紹介・公開する。	原始・古代から現代までの高松の歴史を常設展示、収蔵品展「高松藩・狩野派!」、企画展「心を豊かにするデザイン」、「高松藩校講道館」、収蔵品展「奥の坊遺跡の世界」、ロビー展等を開催し、収蔵資料を紹介・公開した。	5	瀬戸内国際芸術祭2016パートナーシップ事業として開催した企画展のほか各展示とも好評であり、入場者は前年度を上回った。	原始・古代から現代までの高松の歴史を常設展示、収蔵品展「プレイバック高松」、企画展「さめきのFOOD(風土)」、収蔵品展「戦国時代の高松市(仮称)」、企画展「自然へのまなざし、描かれる動植物たち(仮称)」、ロビー展等を開催し、収蔵資料を紹介・公開する。	歴史資料館
145	I	5	(3)	文学展事業	実行委員会(補助)	貴重な文学資料を鑑賞し、文学への理解と関心を高める機会として、菊池寛ほか郷土ゆかりの作家等の文学展を開催する。	9月17日～10月16日の会期で第25回文学展「生誕120年記念 宮沢賢治」を開催、企画展示をはじめ特別行事により、文学への理解と関心を高める機会を提供する。直木賞作家による記念講演会も11月18日に開演予定。	9月17日～10月16日の会期で第25回文学展「生誕120年記念 宮沢賢治」を開催、企画展示や特別行事により文学への理解と関心を高める機会を提供した。直木賞作家の記念講演会も11月18日に実施した。	5	ボランティア活動として定着しており、参加者は前年度を上回った。	9月16日～10月22日の会期で第26回文学展「没後90年 芥川龍之介—その青春と友情」を開催、企画展示をはじめ特別行事により、文学への理解と関心を高める機会を提供する。3名の講師による座談会形式の記念講演会も11月23日に開催予定。	菊池寛記念館
146	I	5	(3)	図書館等資料整備 事業	市	図書館サービスの向上、機能強化等を図るため、各種資料(図書・雑誌・新聞・AV資料等)・情報の収集・提供を行う。	図書・雑誌・新聞・AV資料等の収集・提供 資料整備費 (95,102,000円 分室活性化事業費 750,000円を含む)	図書・雑誌・新聞・AV資料等の収集・提供 資料整備費 (89,210,622円)	5	予算執行率が約100%であり、計画的な執行ができた。	図書・雑誌・新聞・AV資料等の収集・提供 資料整備費 (95,102,000円 分室活性化事業費 750,000円を含む)	中央図書館
147	I	5	(3)	移動図書館事業	市	移動図書館車3台で、図書館の利用が困難な校外地域88ステーションを巡回し、図書等の貸出サービスを実施する。	移動図書館車3台で、図書館の利用が困難な校外地域86ステーションと瀬戸・高松広域定住自立圏の直島2ステーションを含む88ステーションに巡回サービスを実施する。 160,000冊	移動図書館車3台で、図書館の利用が困難な校外地域86ステーションと瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の直島2ステーションを含む88ステーションに巡回サービスを実施した。 142,310冊	4	年間計画どおりのサービスを実施し、事業成果は保っている。	移動図書館車3台で、図書館の利用が困難な校外地域86ステーションと瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の直島2ステーションを含む88ステーションに巡回サービスを実施する。 160,000冊	中央図書館
148	I	5	(3)	高松テルサ文化 祭・研修事業(再 掲) (No. 13)					選択 してく ださい			産業振興課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	Ⅰ	Ⅱ	(3)									
149	Ⅰ	5	(3)	埋蔵文化財センター体験学習(再掲)(No.121)					選択してください			文化財課
150	Ⅰ	5	(3)	本のソムリエ派遣事業(再掲)(No.21)					選択してください			中央図書館
151	Ⅱ	1	(1)	ゆめづくり推進事業	市	地域コミュニティとして、地域課題の解決・改善につながり他地域のモデルとなる事業に補助金を交付する。	事業提案のあった22の地域コミュニティ協議会に対し、補助金を交付する。	22協議会	3	事業目的を概ね達成したことから、事業の見直しが必要であるため。	(本事業は、平成28年度で廃止した。)	コミュニティ推進課
152	Ⅱ	1	(1)	地域コミュニティまちづくり活動支援事業	市	コミュニティプランを策定した地区(校区)に対し、地域コミュニティ組織の運営および事業計画策定の会議等経費を補助金として交付する。	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	コミュニティ推進課
153	Ⅱ	1	(1)	協働企画提案事業	市民活動団体等	社会的・公益的課題の解決、市民サービス向上のため、市民活動団体等の専門性・先駆性・柔軟性など特性を生かした企画提案を募集する。	事業の見直しを実施。採択事業を委託2事業とし、提案団体・関係課等での協議を事前・事中・事後に渡り、きめ細かに実施することで、意思疎通と情報共有を図り、協働への理解を深める。また、外部アドバイザーを活用し、計画の軌道修正を行うことによる事業内容のブラッシュアップを行う。協働事業の広がりにつなげることから、審査を受け、最長2年間の継続を認める。	新規事業2事業を採択実施。①PROUD:「LGBT～性的少数者って何だろう?」ぐるり出張講座とパネル展 ②地域の家ココカラハウス:「まなぶ・いかす・つながる・ひろげる ここから未来の学校～若者たちの人生デザイン～」関係課及びアドバイザーとの協議をきめ細かに実施したことにより、事業のブラッシュアップが行われ、より効果的な取組につながった。また協働事業への取組に対する理解も深めることができた。	4	アドバイザーの活用、きめ細かな協議の実施等、事業の見直しの成果により、本来の協働の観点からの取組ができ成果の向上につながった。今後、行政及び市民活動団体等が互いに協働事業への取組に対する認識を深め、共通理解を図ることにより、更なる向上が期待できる。	平成28年度実施団体から継続申請を受け、審査を経て採択実施。また、29年度新規事業を募集し、審査を経て最大2事業を採択実施。個々の事業にアドバイザーを選任し、事前・事中・事後に渡り、きめ細かに協議を実施し、事業のブラッシュアップを図ると共に、互いに協働事業への理解を深める。	コミュニティ推進課 市民協働推進室
154	Ⅱ	1	(1)	「食育」で心と体いきいき事業	各種団体(委託)	地域の食育を推進するため、各種団体から事業提案を募集し、採択事業を委託実施する。	H26年度で廃止(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	保健センター

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	II	I	(2)									
155	II	I	(2)	観光ボランティアガイド事業	市観光ボランティアガイド協会(補助)	観光客等の利便を図るため、市内の歴史・文化・自然・物産などを紹介するボランティアガイドを育成する。	市内(屋島山上・玉藻公園内・サンポート高松)3か所、ボランティアガイド事業を実施。 会員の高齢化が年々問題化されているので、ガイド事業を継続するためにも後継者の育成に力を入れて取り組むこと。	新人会員の育成については、ベテラン会員との意見交換会等や設け、相談事や今後の方針について新しい意見を聞き取った。新人会員の中には、ベテラン会員と同じように積極的にガイドをする会員が育ち、会員の中での積極性が感じられた。	4	新規ガイドの加入により、当初の計画を概ね達成できた。	市内(屋島山上・玉藻公園内・サンポート高松)3か所、ボランティアガイド事業を実施。 会員の高齢化が年々問題化されているので、ガイド事業を継続するためにも研修等を通して、後継者の育成に力を入れて取り組むこと。	観光交流課
156	II	I	(2)	美術館ボランティア事業	市	市民の美術活動の支援と鑑賞者の利便性を図るため、美術館ボランティアを設置する。	開催特別展のギャラリートークを実施する。	実施回数92回 参加者数1,516人	5	設定した目標が達成され、十分成果が上がっているため。	開催特別展のギャラリートーク等を実施する。	美術館美術課
157	II	I	(2)	市民の学習成果発表の場提供事業	市	市民の学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を開催する。	市民の学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を10講座開催する。	市民の学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を16講座開催した。	5	講座参加人数は、目標を上回った。	市民の学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を16講座開催した。	生涯学習センター
158	II	I	(2)	生涯学習センター遊友塾	市	公益性のある学習課題・現代的課題をテーマに自ら企画・実施できる機会を提供し、市民参画型講座等開催を支援する。	公益性のある学習課題・現代的課題をテーマに自ら企画・実施できる機会を提供し、市民参画型講座等開催を支援し、講座参加人数1,020人を目指す。	公益性のある学習課題・現代的課題をテーマに自ら企画・実施できる機会を提供し、市民参画型講座等開催を支援し、講座参加人数487人だった。	3	講座参加人数が目標に達しなかった。	公益性のある学習課題・現代的課題をテーマに自ら企画・実施できる機会を提供し、市民参画型講座等開催を支援し、講座参加人数1,020人を目指す。	生涯学習センター
159	II	I	(2)	まなびCANこども教室	市	生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりや環境問題等の講座を開催する。	生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりや環境問題等の講座を開催し、講座参加人数560人を目指す。	生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりや環境問題等の講座を開催し、講座参加人数392人だった。	3	講座参加人数が目標に達しなかった。	生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりや環境問題等の講座を開催し、講座参加人数392人だった。	生涯学習センター
160	II	I	(2)	資料館ボランティア事業	市	歴史資料館サポーターによる支援活動、古文書解読ボランティアによる収蔵資料解説・データ化等を行う。	歴史資料館サポーターによる支援活動(企画展ミュージアムトーク、資料整理、発送準備)、古文書解読ボランティアによる収蔵資料解説・データ化等を行う。新規のサポーター数の増加を図る。	歴史資料館サポーターによる支援活動(企画展ミュージアムトーク、資料整理、発送準備)、古文書解読ボランティアによる収蔵資料解説・データ化等を行った。	5	ボランティア活動として定着しており、参加者は前年度を上回った。	歴史資料館サポーターによる支援活動(企画展ミュージアムトーク、資料整理、発送準備)、古文書解読ボランティアによる収蔵資料解説・データ化等を行う。新規のサポーター数の増加を図る。	歴史資料館

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1～5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	Ⅰ	Ⅱ	(1)(2)									
161	Ⅰ	1	(2)	よみきかせたいじり派遣事業(再掲) (No. 203)					選択してください			中央図書館
162	Ⅱ	2	(1)	市民活動センター事業	市	市民活動センターにおいて、市民活動活性化のため、情報収集・提供、学習・研修、交流・コーディネート、調査・連携、災害時対応など各種事業を実施する。	市民活動センターを、瓦町FLAGに統合したことにより、更なるセンターの機能強化と、利用促進に向け、各種講座の開催はもとより、相談やコーディネート機能を高めるとともに、市民活動団体の情報収集・調査にも積極的に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 活動支援講座(会計・労務等) 14回 137人 活動紹介講座(IT教室等) 26回 775人 高松市まちづくり学校 地域づくりチャレンジ塾 7回 137人 みんなの学縁祭 1回 112人 1周年記念事業(和い輪いかい等) 2日 260人 	4	市民活動センターを統合し、マンパワーを結集したことにより、効率的な事業運営ができた。今後は、NPO法人に関する相談事業も含めた幅広い活動支援の充実に取り組むことにより、更なる効果が期待できる。	<ul style="list-style-type: none"> 各種講座の実施(活動支援、活動紹介等) NPO法人認証等事務に関する相談等 高松市まちづくり学校 情報収集及び発信(機関誌、HP、FB等) 	コミュニティ推進課 市民協働推進室
163	Ⅱ Ⅰ	2 1	(1) (1)	市民グループ学習支援事業	市	自発的な学習意欲を持つ市民団体を公募し、女性の資質・能力の向上や家庭教育に関する学習活動を助成する。	<ul style="list-style-type: none"> 女性教室実施団体数:5団体 家庭教育学級実施団体数:6団体 	<ul style="list-style-type: none"> 女性教室実施団体数:2団体 家庭教育学級実施団体数:3団体 	3	予定していた募集团体数に達しなかったため、2次募集まで行ったが、応募がなく、計画の半分程度になってしまったため。	当課実施なし	生涯学習課
164	Ⅱ	2	(1)	卓明浦ダム周辺ボランティア清掃事業(再掲) (No. 113)					選択してください			企業総務課
165	Ⅱ	2	(2)	大学等との連携事業	市	行政課題へ迅速かつ的確に対応するため、大学等と包括協定を締結し、多分野・多面的な連携を推進する。	引き続き、本市の行政課題の解決等を図るため、大学や金融機関などの地域の多様な主体との連携を推進する必要がある。	行政課題へ迅速かつ的確に対応するため、大学等と包括協定を締結し、多分野・多面的な連携を推進する。	4	更に、多様な主体との連携を拡充し、推進する必要がある。	引き続き、本市の行政課題の解決等を図るため、大学や金融機関などの地域の多様な主体との連携を推進する必要がある。	政策課
166	Ⅱ	2	(2)	シルバー人材センター事業	(公社)高松市シルバー人材センター(補助)	高松市シルバー人材センターにおいて、働く意欲のある高齢者の就業機会を増大し、社会参加と生きがいづくりを促進する。	シルバー人材センターにおいて、働く意欲のある高齢者の就業機会を増大させ、多様なニーズに対応することで、社会参加と生きがいを得る場を提供する。	シルバー人材センターにおいて、働く意欲のある高齢者の就業機会を増大させ、多様なニーズに対応することで、社会参加と生きがいを得る場を提供した。	3	「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の改正により、65歳までの継続雇用制度等が開始され、高齢者の雇用機会が増加したことから、短時間労働を主とするシルバー人材センターにあつては、設定した目標が達成せず、成果が上がっていない。	シルバー人材センターにおいて、働く意欲のある高齢者の就業機会を増大させ、多様なニーズに対応することで、社会参加と生きがいを得る場を提供する。	長寿福祉課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	Ⅱ	2	(2)									
167	Ⅱ	2	(2)	「ため池守り隊」市民活動支援事業	市民活動団体(補助)	自然環境保全のため、非農家も参加し、ため池の清掃活動等を実施する団体に補助金を交付する。	16か所のため池で実施予定。	19か所のため池で実施	5	新規に3か所のため池において事業が実施されている。	18か所(市長マニフェスト平成29年度目標)	土地改良課
168	Ⅱ Ⅲ	2 2	(2) (1)	まちかど漫遊帖事業	高松まちかど漫遊帖実行委員会(補助)	歴史探訪・食・産業など高松の隠れた観光資源を発掘し、市民主体で企画・運営する。まち歩きガイドを実施し、観光客の誘致を図り、まちの活性化につなげる。	歴史探訪・食・産業など高松の隠れた観光資源を発掘し、市民主体で企画・運営する。まち歩きガイドを実施し、観光客の誘致を図り、まちの活性化につなげる。	リピーターとなっている参加者を確保しているガイドもいる等、一部のガイドの質の向上が見受けられた。しかしながら、ガイド自身が主体性を持っていると言える状況ではなく、全体的にマンネリ傾向にあると感じられる。	3	参加を毎回楽しみにされているお客様が少なくない点は評価し得るが、新しいコースの造成意欲は各ガイドから薄れており、毎回同じ内容のものも見受けられる。各ガイドの意欲向上が求められる。	歴史探訪・食・産業など高松の隠れた観光資源を発掘し、市民主体で企画・運営する。まち歩きガイドを実施し、観光客の誘致を図り、まちの活性化につなげる。	観光交流課
169	Ⅱ	2	(2)	NPO等の活用による環境学習活動(再掲)(No. 1.2)					選択してください			環境保全推進課
170	Ⅱ	2	(2)	知的障がい者青年教室(再掲)(No. 1.6)					選択してください			生涯学習課
171	Ⅲ	1	(1)	老人大学事業 高松いきいき	高松市老人クラブ連合会(補助)	高松市老人クラブ連合会において、市内在住の60歳以上の高齢者を対象に、3学科(健康・文化・生活)の老人大学を開講する。高松いきいき	高松市老人クラブ連合会において、市内在住の60歳以上の高齢者を対象に、3学科(健康・文化・生活)の高松いきいき大学を開講する。	高松市老人クラブ連合会において、市内在住の60歳以上の高齢者を対象に、3学科(健康・文化・生活)の高松いきいき大学を開講した。平成28年5月～平成29年2月定員165名(各学科55名ずつ)	5	設定した目標が達成され、十分成果が上がっている	高松市老人クラブ連合会において、市内在住の60歳以上の高齢者を対象に、3学科(健康・文化・生活)の高松いきいき大学を開講する。	長寿福祉課
172	Ⅲ Ⅰ	1 5	(1) (2)	コミュニティセンター同好会事業	市	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行う。	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行う。	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行った。	4	計画どおり実施した。	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行う。	生涯学習センター
173	Ⅲ	1	(1)	市民登山学校(再掲)(No. 4.9)					選択してください			スポーツ振興課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系		事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
174	III	1 (2)	男女共同参画市民フェスティバル	男女共同参画市民フェスティバル実行委員会(補助)	高松市男女共同参画センター登録団体が中心となり、講演会の開催・パネル展・ワークショップ等を開催する。	高松市男女共同参画センター登録団体が中心となり、講演会の開催・パネル展・ワークショップ等を11月に開催する。	高松市男女共同参画センター登録団体が中心となり、講演会の開催・パネル展・ワークショップ等を11月~12月に開催した。	3	予定通り事業が実施されたが、目標が達成されなかったため。	高松市男女共同参画センター登録団体が中心となり、講演会の開催・パネル展・ワークショップ等を開催する。	男女共同参画推進室
175	III	1 (2)	市民活動団体ネットワーク構築事業	市民活動団体等	各種市民活動団体や教育機関等との交流会の開催など、団体同士のネットワーク構築を図る。	まちづくり学校実行委員会を中心に、より市民と市民活動団体等、また市民活動団体同士がふれあい、その後につながりもてるような文化祭を開催する。	たかまつでヒトヤコトがつながるONE DAYプログラム「みんなの学“縁”祭」開催 ①地域づくりチャレンジ塾2016最終報告会 ②ワールドカフェ ③地域活動パネル展示 ④さぬき映画祭2017優秀企画上映作品無料上映平成29年3月18日(土)市民交流プラザIKODE瓦町参加者112人	4	「みんなの学“縁”祭」の開催により、市民活動団体等と地域コミュニティ協議会関係者の交流はもとより、互いが様々な場面で地域づくりを共に考える場を共有でき、つながるONE DAYとなった。今後、益々多様な主体の連携交流を深めることで、ネットワークが広がると共に活動の活性化が期待できる。	高松市まちづくり学校実行委員会を中心に、市民活動団体、地域コミュニティ協議会関係者等、地域づくりに関わる多様な人たちの連携・交流の場として、「みんなの学“縁”祭」を開催する。	コミュニティ推進課 市民協働推進室
176	III	1 (2)	子ども未来ネットワーク会議	市	子育て支援団体等の相互交流・情報交換の場として、部門別会議や座談会を開催し、連携・協働を図る。	子育て支援事業を実施する団体ごとのネットワークを構築する部門別会議を開催する。 ・地域子育て支援センター部門(2回) ・地域組織部門(2回) ・学童保育部門(2回) ・子育てサークル等(2回) 各種子育て支援事業実施団体が一堂に会し、意見交換できる場を提供するために「子ども未来ネットワーク会議座談会」を開催。(2回)	子育て支援事業を実施する団体ごとのネットワークを構築する部門別会議を開催した。 ・地域子育て支援センター部門(2回) ・地域組織部門(2回) ・学童保育部門(2回) 各種子育て支援事業実施団体が一堂に会し、意見交換できる場を提供するために「子ども未来ネットワーク会議座談会」を開催。(2回)	4	子育てサークル部門は参加希望がなかったため開催できなかったが、他の部門等会議については、計画通りであった。	子育て支援事業を実施する団体ごとのネットワークを構築する部門別会議を開催した。 ・地域子育て支援センター部門(2回) ・地域組織部門(2回) ・学童保育部門(2回) 各種子育て支援事業実施団体が一堂に会し、意見交換できる場を提供するために「子ども未来ネットワーク会議座談会」を開催。(2回)	子育て支援課
177	III I IV	1 (2) 4 (2) 1 (2)	家庭・地域の教育力向上推進事業	市	家庭・地域の教育力向上を図るため結集した協議体を核に、家庭教育・子育て情報の発信のほか、先行事例モデル地域でのワークショップ・座談会、報告会等を開催する。	事業廃止 新規事業「子どもを中心とした地域交流事業」を展開する。 (評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	生涯学習課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系		事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	III	I									
178	III	I	子どもを中心にした地域交流事業	市	地域で活動する各種団体等が協働することにより、団体の持ち味やネットワークを活かしながら、子ども及び保護者並びに地域の大人が関わる継続的な事業を実施することで、地域の住人が顔見知りになるほか、地域の一体感を醸成するとともに、地域ぐるみで子どもを育む機運を高める。地域交流事業の一環として、通学合宿を併せて実施することができる。	新規4団体を募集する。H27年度実施8団体には事業を継続してもらうことにより、さらに子どもと地域との交流の輪を広げる。	(1)地域交流事業 新規4校区、継続8校区 (2)通学合宿事業 新規0、継続1校区 ①太田南(白みそあん餅雑煮・しめ縄作り等)②木太北部(折鶴プロジェクト・キャンプ)③鶴尾(じゃがいも掘り・スタンプラリー等)④栗林(キャンプ・夏休みラジオ体操会等)⑤太田(ラジオ体操・宿題ハウス)⑥国分寺北部(田植え・稲刈り体験・しめ縄作り等)⑦東植田(地域交流キャンプ等)⑧香南(芸術家とのワークショップ・クリスマス工作等)⑨川島(農業体験・収穫祭)⑩多肥(木工教室・昔遊び等)⑪国分寺南部(さつまいも栽培、うどん作り等)⑫一宮(ダンボール工作・ちやぐりんフェスタ等)	3	通学合宿事業が計画よりも減少した。なお、事業を通して、子ども、保護者、地域が協力・交流の過程でお互いを思いやる気持ちが育めた。また、子どもの表現力が豊かになり、地域の人に自ら質問など働きかけるようになった。	(1)地域交流事業 新規4校区、継続12校区 (2)通学合宿事業 新規2校区、継続1校区 事業を継続してもらうことにより、さらに子どもと地域との交流の輪を広げる。	生涯学習課
179	III	I	掃除教育「びかびかデー」	市	幼稚園・小学校で、地域の高齢者等から掃除の仕方を学びながら清掃活動・心の教育を行う。	(こども園運営課・学校教育課) こども園・幼稚園・小学校において、地域の高齢者や祖父母、保護者など様々な方から、掃除の仕方を学びながら、清掃活動・心の教育を行う。	(こども園運営課・学校教育課) こども園・幼稚園・小学校において、地域の高齢者や祖父母、保護者など様々な方から、掃除の仕方を学びながら、清掃活動・心の教育を行った。	5	当初の予定どおり事業を実施することができた。	(こども園運営課・学校教育課) こども園・幼稚園・小学校において、地域の高齢者や祖父母、保護者など様々な方から、掃除の仕方を学びながら、清掃活動・心の教育を行う。	こども園運営課 学校教育課
180	III	I	地域密着型トップスポーツチーム交流・連携事業	市	地域密着型トップスポーツチームとの交流・連携を図るため、スポーツ教室やスクールガード等を実施する。	地域密着型トップスポーツチームとの交流・連携を図るため、スポーツ教室やスクールガード等を実施する。	434回 29,666人	4	新リーグが発足し、香川ファイブアローズがB2リーグに参戦したこともあり、回数・参加数は増加している。	地域密着型トップスポーツチームとの交流・連携を図るため、スポーツ教室やスクールガード等を実施する。	スポーツ振興課
181	III	I	放課後子ども教室(再掲) (No. 89)					選択してください			子育て支援課
182	III	I	スマイルあいさつ運動(再掲) (No. 93)					選択してください			学校教育課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	Ⅲ	1	(3)									
183	Ⅲ	1	(3)	新春子どもフェスティバル(再掲) (No. 1.1.7)					選択してください			生涯学習課
184	Ⅲ	1	(3)	子ども会フットベースボール大会(再掲) (No. 1.1.8)					選択してください			生涯学習課
185	Ⅲ	1	(3)	こども農園事業(再掲) (No. 1.2.0)					選択してください			生涯学習課
186	Ⅲ	1	(3)	子どもわくわく体験支援事業(再掲) (No. 1.1.6)					選択してください			生涯学習課
187	Ⅲ	1	(3)	高松・嶺北子ども交歓会(再掲) (No. 1.1.9)					選択してください			生涯学習課
188	Ⅲ	2	(1)	地域コミュニティ人材養成事業	市	まちづくり活動の中核を担う地域のリーダー養成を目的とした人材養成事業を実施する。	地域コミュニティ人材養成事業 平成29年2月下旬 テーマ、講師 未定	平成29年2月18日開催 講師:九州大学大学院 統合新領域学府 客員准教授 加留部貴行 氏 テーマ:『いっしょにやる、ということ ~多様性や変化と向き合う時代に向けて~』 参加者:311人	3	これまで同じ方法で開催しており、参加者数も目標には達していないことから、今後の改善が必要であるため。	事業の実施方法を再検討し、実施する。	コミュニティ推進課
189	Ⅲ	2	(1)	地域防災リーダー育成セミナー ※H29年度から「防災講演会」に変更	市	防災に関する基本知識・技能を有する人材育成のため、意欲ある市民を対象に、防災に関する各専門分野の講師によるセミナーを開催する。	7月30日(土)午後、8月6日(土)午後の2日間で、セミナーを開催する。	実施計画のとおり 7月30日(土)午後、8月6日(土)午後の2日間で開催した。	4	当初の予定通り、滞りなくセミナーを開催することができた。	地域防災リーダー育成セミナーに変わり、防災講演会を開催し、防災に関する基本知識・技能を有した人材を育成する。	危機管理課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
190	Ⅲ	2	(1)	認知症サポーター養成講座	市	認知症高齢者等に対する正しい知識を持ち、地域で認知症高齢者等や家族を支援するサポーターを養成し、安心して暮らせる地域づくりの担い手を増やす。	参加人数 目標は5,000人 ① 受講者を小・中・高・大学生等の若い世代や見守り協定を結ぶ企業等に拡大し開催する。 ② 講座受講後地域で認知症対策に取り組めるよう、フォローアップ講座を開催する。	認知症サポーター養成人数 4,831人	4	目標に対して、97%の実績であるため。	参加人数 目標は5,000人 ① 受講者を小・中・高・大学生等の若い世代や見守り協定を結ぶ企業等に継続して開催する。 ② 講座受講後、認知症サポーターが地域で認知症対策に取り組めるよう、フォローアップ講座を開催する。	地域包括支援センター
191	Ⅲ Ⅰ	2 3	(1) (3)	PTA地域活動促進事業	市	PTA連絡協議会への活動を支援し、子どもの安全の確保のための不審者情報や健全育成情報等のメール配信を支援する。	高松市PTA連絡協議会へ運営事業、メール配信運営事業の補助金の交付	高松市PTA連絡協議会へ運営事業及びメール配信事業の補助金を支出(運営事業:6月、10月・メール配信事業:6月)	5	助成によりPTA活動の充実・発展に寄与した。	高松市PTA連絡協議会へ運営事業、メール配信運営事業の補助金の交付	生涯学習課
192	Ⅲ	2	(1)	少年団体育成事業	市	校区子ども会育成連絡協議会相互の連携を図り、子ども会活動の充実と子どもの健全育成のため高松市子ども会育成連絡協議会の運営を支援する。	高松市子ども会育成連絡協議会への補助金を交付し、支援を行う。	協議会へ補助金を支出	5	助成により子ども会活動の充実・発展に寄与した。	高松市子ども会育成連絡協議会への補助金を交付し、支援を行う	生涯学習課
193	Ⅲ	2	(1)	青年活動推進事業	市	青年活動の振興を目指し自主的に活動する市青年連絡協議会への助成と、青年教育振興のため協議会へ参画する。	更なる青年活動の振興を図るため、市青年連絡協議会への助成を行うとともに各種会合へ参加する。	市青年連絡協議会への運営支援として補助金を交付し、青年活動の振興を図るため、各種会合へ参加した	4	会員数の増減はなかったが、各種行事、会合へ積極的に参加した	更なる青年活動の振興を図るため、市青年連絡協議会への助成を行うとともに各種会合へ参加し、会員数の増加を図る	生涯学習課
194	Ⅲ	2	(1)	指導者のためのセミナー	市	市民と行政との協働によるまちづくりを実現するため、また、市政への市民参画を図る推進するため、生涯学習推進の指導的役割りを果たす人材を養成する講座を開催する。	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	生涯学習センター
195	Ⅲ Ⅰ	2 5	(1) (2)	生涯学習推進員養成研修	市	コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための講座を開催する。	コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための講座を開催し、講座参加人数470人を目指す。	コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための講座を開催し、講座参加人数414人だった。	4	講座参加人数が目標に達しなかった。	コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための講座を開催し、講座参加人数464人を目指す。	生涯学習センター

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1～5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	Ⅲ	Ⅱ	(1)									
196	Ⅲ	2	(1)	地域における人権啓発推進事業(再掲)(No. 25)					選択してください			人権啓発課
197	Ⅲ	2	(1)	まちかど漫遊帖事業(再掲)(No. 168)					選択してください			観光交流課
198	Ⅲ Ⅳ	2 1	(2) (1)	環境学習・環境教育の推進事業	市	環境ワークショップ、環境学習支援事業、リサイクルアート事業、自然観察体験事業などを実施する。	環境保全推進課分室を活用した環境問題への意識啓発や環境に関する基本的知識の向上を図る環境ワークショップ(館内講座)の実施や環境情報の提供を行うとともに、コミュニティセンター等、地域で実施する環境学習支援事業(出前事業)を実施する。	事業計画に従い、環境ワークショップ(館内講座)や環境学習支援事業(出前事業)を実施した。また、瀬戸内海の環境保全について学ぶ磯の観察会などの講座を実施した。	4	目標参加人員には達しなかったが、市民からの要望を踏まえた内容についてNPO等と協議しながら、多岐に渡るテーマで各事業を実施した。	環境問題への意識啓発や環境に関する基本的知識の向上を図る環境ワークショップの実施や環境情報の提供を行うとともに、コミュニティセンター等、地域で実施する環境学習支援事業(出前事業)を実施する。	環境保全推進課
199	Ⅲ	2	(2)	幼年・少年消防クラブの育成	幼少、少年消防クラブ連絡協議会(補助)	幼少年期から防災意識を高め、地域の安全・安心の担い手として育成するため、保育所・幼稚園・小中学校に幼年少年消防クラブの結成を推進する。	幼少年期から防災意識を高め、地域の安全・安心の担い手として育成するため、保育所・幼稚園・小中学校に幼年少年消防クラブの結成を推進する。	少年消防クラブが新たに1クラブ結成された。	4	幼年消防クラブは、保育所が統合され、1クラブ減少した。	幼少年期から防災意識を高め、地域の安全・安心の担い手として育成するため、保育所・幼稚園・小中学校に幼年少年消防クラブの結成を推進する。	予防課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系		事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
200	Ⅲ	2 (2)	子ども育成指導者養成事業	市	各校区の子ども会リーダー・ジュニアリーダー・育成者を対象に、子ども会活動に必要な実技指導の講習会を開催する。	第1回:新役員講習会 平成28年5月15日(日) 塩江セカンドステージ 第2回:リーダー研修会 平成28年7月16日(土) 高知県香南市 第3回:ジュニアリーダー養成会 開催日未定 開催場所未定 第4回:リーダー研修会 平成28年10月29日(土)~30日(日) 愛媛県大洲市国立大洲青少年交流の家 第5回:指導者講習会 開催日未定 開催場所未定	第1回:校区育成会新役員講習会 平成28年5月15日(日) 塩江セカンドステージ 参加者:106名 第2回:子ども会リーダー研修会 平成28年7月16日(土) 高知県香南市「YASU海の駅クラブ」 参加者:53名 第3回:子ども会リーダー研修会 平成28年10月29日(土)~30日(日) 国立大洲青少年交流の家 参加者:39名 第4回:育成会指導者講習会 平成28年11月23日(水) 小豆島 参加者:39名	4	計画よりも実施回数が減となったが、充実した事業を実施できた。	第1回:校区育成会新役員講習会 平成29年5月14日(日) 塩江セカンドステージ 第2回:子ども会リーダー研修会 平成29年7月8日(土) 高知県香南市野洲 第3回:子ども会リーダー研修会 平成29年9月30日(土)~10月1日(日) 神戸市立自然の家 第4回:育成会指導者講習会 開催日:未定 開催場所:未定	生涯学習課
201	Ⅲ	2 (2)	地域活動促進事業	市	地域における子ども活動の充実・拡大のため、子ども会や育成会が実施する研修会や事業に、専門的な指導・助言を行う指導員を派遣する。	派遣予定時間:30時間 役員講習会のように単位子ども会の役員が集まる場で資料配布するなど、高松市子ども会育成連絡協議会と協力して広報に努める。また、指導員も高齢化してきているので、新たな指導員の募集活動を行う。	派遣時間:30時間 派遣回数:17回	5	派遣予定時間を達成できた。また、派遣予定時間を超えて申し込みがあった。	派遣予定時間:60時間 役員講習会のように単位子ども会の役員が集まる場で資料配布するなど、高松市子ども会育成連絡協議会と協力して広報に努める。	生涯学習課
202	Ⅲ Ⅰ	2 (2) 2 (3)	少年相談員養成事業	市	子どもの健全育成のため、悩める子ども・保護者等の地域の身近な相談相手として少年相談員の養成講座を開催する。	相談員配置校区数 120人 40校区	相談員配置校区数 131人 38校区	4	概ね、達成できているが、目標には到達しなかった。	県と同様の事業があるため、28年度をもって廃止とし、県の講座の受講を推奨している。	少年育成センター
203	Ⅲ Ⅱ	2 (2) 1 (2)	よみきかせたいJr派遣事業	市	子どもの自主的な読書活動や社会貢献への意義や重要性を養う機会として、老健施設等での「よみきかせたいJr」、「キッズ読み聞かせ隊」による読み聞かせ活動を実施する。	子どもの自主的な読書活動や社会貢献への意義や重要性を養う機会として、老健施設等での「よみきかせたいJr」、「キッズ読み聞かせ隊」による読み聞かせ活動を実施する。 継続的に養成講座を開催し、読み聞かせ活動(おはなし会)を充実させる。外部から依頼があれば積極的に実施する。	保育所への訪問や子ども読書まつり等図書館のイベントを中心に、計15回の読み聞かせ活動を行った。	5	依頼による外部活動は少なかったものの、図書館のイベント中心に積極的に活動を行った。	子どもの自主的な読書活動や社会貢献への意義や重要性を養う機会として、老健施設等での「よみきかせたいJr」、「キッズ読み聞かせ隊」による読み聞かせ活動を実施する。 継続的に養成講座を開催し、読み聞かせ活動(おはなし会)を充実させる。外部から依頼があれば積極的に実施する。	中央図書館

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	Ⅲ	2	(2)									
204	Ⅲ	2	(2)	年長児童の赤ちゃん・出会い・ふれあい事業(再掲)(No. 73)					選択してください			子育て支援課
205	Ⅲ	2	(2)	成人式式典事業(再掲)(No. 15)					選択してください			生涯学習課
206	Ⅲ	3	(1)	文書管理体制再構築事業	市	歴史公文書等を適切に保存し、市民の利用に供することができるよう市の文書管理体制の再構築を図る。	(評価不可) (平成27年度以降は公文書館管理運営)	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	総務課
207	Ⅲ	3	(1)	公文書館管理運営	市	歴史公文書等の保存、利用及び調査研究並びに普及啓発を行う施設として公文書館を管理運営する。	香川支所(旧香川町)及び香南支所(旧香南町)、高松市分歴史公文書等の例年移管。行政資料の受入れ	<ul style="list-style-type: none"> 香川支所(旧香川町)の歴史公文書等の移管 高松市分歴史公文書等の例年移管 利用促進 	4	香川支所(旧香川町)の歴史公文書等の移管については概ね終了したものの、香南支所(旧香南町)については、業務量が想定より多かったため、終了には至らなかった。また、高松市分歴史公文書等の例年移管については、H28年分と同時進行で、滞っていた過去2年分が終了した。なお、特定歴史公文書等の利用請求件数は、昨年より増加した。	<ul style="list-style-type: none"> 香南支所(旧香南町)、高松市分歴史公文書等の例年移管。 利用促進 	総務課
208	Ⅲ	3	(1)	こども未来館(仮称)整備事業	市	市民文化センター本館跡地に、子どもを主体とした、子どものための施策、事業を実施し、子どもを中心として幅広い世代の人々が交流できる施設として、「こども未来館(仮称)」を整備する。	工事竣工後、展示物やプラネタリウムの設置等を行うとともに、スタッフの体制整備や業務マニュアルの作成を行うなど、28年11月の開館に向け準備を進める。	工事竣工後、展示物やプラネタリウムの設置等を行うとともに、スタッフの体制整備や業務マニュアルの作成を行うなど開館に向けて整え、平成28年11月23日に開館した。	5	予定どおり、開館できたため。	整備事業を完了したため、なし。	こども未来館整備室
209	Ⅲ	3	(1)	南部地域スポーツ施設整備事業	市	市民スポーツの振興を図るため、「南部地域における特色あるスポーツ施設」として整備する。	建設工事	実施設計修正業務、建設工事	4	実施設計の修正を行ったため、発注時期は遅くなったが、建設工事に着手した。	建設工事	スポーツ振興課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	Ⅲ	3	(1)									
210	Ⅲ	3	(1)	ヨット競技場再整備事業	市	老朽化施設を改修し、マリンスポーツを通し健康増進・相互交流・利便性の向上、競技選手の育成を図る。	建設工事	建設工事	5	概ね計画どおりの進捗であった。	建設工事	スポーツ振興課
211	Ⅲ	3	(1)	屋島陸上競技場再整備事業	市	東讃地域で唯一の公認陸上競技場である現施設の老朽度、施設・設備の整備状況等を踏まえ、基本構想・計画に基づき再整備する。	しゅん工	しゅん工した。	5	しゅん工した。	指定管理者の管理・運営のもと、旧屋島陸上競技場からの利用者増加を目指す。	スポーツ振興課
212	Ⅲ	3	(1)	美術資料の収集	市	美術品の取得方針に基づき、系統的に美術品を購入する。	日本の現代美術や香川の工芸などの作品を収集する。	収集点数4点	4	当初の購入予算自体は減額となったものの、寄贈作品を含め当美術館の収集方針に沿った収集を行うことができた。	日本の現代美術や香川の工芸などの作品を収集する。	美術館美術課
213	Ⅲ	3	(1)	資料館資料の収集・調査・研究	市	歴史資料館ほか各資料館活動に必要な資料を収集し、展示・公開に向けての調査研究、保存管理等を行う。	歴史資料館ほか各資料館活動に必要な資料を収集し、展示・公開に向けての調査研究、保存管理等を行う。	歴史資料館ほか各資料館活動に必要な資料を収集し、展示・公開に向けての調査研究・保存管理等を行った。	5	資料収集・保存管理等が順調に進められた。	歴史資料館ほか各資料館活動に必要な資料を収集し、展示・公開に向けての調査研究、保存管理等を行う。	歴史資料館ほか
214	Ⅲ	3	(1)	菊池寛遺品整理・収集	市	郷土の偉大な文化人で文壇の隆盛の礎を築いた菊池寛の功績と名誉を顕彰するため、遺品収集・整理等を行う。	終了	終了	(評価不可)	終了	終了	菊池寛記念館
215	Ⅲ	3	(1)	収蔵品システム運営事業(再掲)(No. 244)					選択してください			歴史資料館ほか
216	Ⅲ	3	(2)	菊池寛およびその作品から学ぶ「寛学」事業	市	郷土の偉大な作家「菊池寛」の作品に親しみ、先人の生き方に学ぶとともに、自己の生き方を考える「寛学」を実施する。	・小学校用作品集と中学校用作品集の不足分の配布を行う。 ・作品を読む活動の設定を行う。 ・菊池寛の作品の感想文募集を実施する。 ・朗読劇を出前講座として小学校で実施する。(10校)	郷土の偉大な作家「菊池寛」の作品に親しみ、先人の生き方に学ぶとともに、自己の生き方を考える「寛学」を実施した。実施率100%	5	実施率は100%であるが、自己の生き方を考える学習を実践することができた。	郷土の偉大な作家「菊池寛」の作品に親しみ、先人の生き方に学ぶとともに、自己の生き方を考える「寛学」を実施する。	学校教育課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	Ⅲ	3	(2)									
217	Ⅲ	3	(2)	屋島城城門遺構整備事業	市	屋島城城門遺構を復元し、屋島山上の観光資源、古代の歴史を体感できる生涯学習資源として活用できるよう整備する。	終了	終了	(評価不可)	終了	終了	文化財課
218	Ⅲ	3	(2)	民具資料活用事業	市	歴史資料館等施設での民具の展示公開、民具の出前展示・体験講座、学校事業での民具活用などを行う。	歴史資料館等施設での民具の展示公開、民具の出前展示・体験講座、学校での民具活用(貸出し)などを行う。	ロビー展「おいしいさかなのかたち」「とりどり」等を行ったほか、出前講座による民具展示等を行った。	3	ロビー展とともに民具資料活用事業は好評であったが、出前講座回数が前年度より減少したため。	歴史資料館等施設での民具の展示公開、民具の出前展示・体験講座、学校での民具活用(貸出し)などを行う。	歴史資料館
219	Ⅲ	3	(2)	古文書講座	市	生活に密着した古文書を題材に、年間7回、古文書を解説し親しむための講座を開催する。	生活に密着した古文書を題材に、年間7回、古文書を解説し親しむための講座を開催する。	生活に密着した古文書を題材に、8月から3月までに7回、古文書を解説し親しむための講座を開催した。	4	人気の講座であるが、周知不足により、前年度と比べ目標値を下回った。(目標値の96%)	生活に密着した古文書を題材に、年間7回(8月~3月)、古文書を解説し親しむための講座を開催する。	歴史資料館
220	Ⅲ	3	(2)	夏休みに郷土高松の歴史を探ろう	市	小中学生を対象に、夏休みの自由研究として郷土の歴史をテーマに調査研究できるよう、資料提供や助言等支援する。	企画展「心を豊かにするデザイン」と関連して、街歩きワークショップを行い、デザインの歴史等をテーマに調査研究できるようにする。	企画展「心を豊かにするデザイン」関連イベントとして開催し、街歩きワークショップを行い、市内中心部にある建築デザインやアートの見どころを紹介した	3	企画展とともに好評であったが、周知不足もあり、埋蔵文化財センターと共同開催であった前年度と比べ参加者数が減少した。	企画展「さぬきのFOOD(風土)」関連したワークショップを行い、高松の歴史等をテーマに調査研究できるようにする。	歴史資料館
221	Ⅳ	1	(1)	市ホームページによる情報提供	市	生涯学習情報を始め、各種の市政情報を発信するため、市ホームページ「もっと高松」の管理・運営を行う。	本市ホームページ「もっと高松」の管理・運営	本市ホームページ「もっと高松」の管理・運営を行った。	4	生涯学習情報を始め、各種の市政情報を適時適切に掲載できた。	本市ホームページ「もっと高松」の管理・運営	広聴広報課
222	Ⅳ	1	(1)	広報たかまつによる情報提供	市	生涯学習情報を始め、各種の市政情報を発信するため、毎月1日・15日に「広報たかまつ」を発行する。	「広報たかまつ」の発行(毎月1日・15日)	「広報たかまつ」を月2回(1日・15日)発行した。	4	生涯学習情報を始め、各種の市政情報を適時適切に掲載できた。	「広報たかまつ」の発行(毎月1日・15日)	広聴広報課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
223	IV	1	(1)	子育て支援総合情報発信事業	市	各種子育て支援情報を集約し、活用しやすい「子育てハンドブック」と最新情報を提供する「子育て支援総合情報サイト」により、積極的な情報提供を図る。	○子育てハンドブック「たかまつらっこ」10,000部増刷(情報修正含む) 子育て支援総合情報サイトの情報更新、母子健康手帳交付時に配布するほか子育て支援課窓口、市民相談コーナー、子育て支援事業実施施設などの窓口で配布。 ○「子育て支援総合情報サイト」らっこネットからのお知らせとして、市役所・民間団体等の子育て家庭向けイベント等を掲載。 ○ひとり親サポートハンドブック(2,000部)の発行とひとり親ウェブサイトの運営	○子育てハンドブック「たかまつらっこ」8,000部増刷(情報修正含む) 子育て支援総合情報サイトの情報更新、母子健康手帳交付時に配布するほか子育て支援課窓口、市民相談コーナー、子育て支援事業実施施設などの窓口で配布。 ○「子育て支援総合情報サイト」らっこネットからのお知らせとして、市役所・民間団体等の子育て家庭向けイベント等を掲載。 ○ひとり親サポートハンドブック(2,000部)の発行とひとり親ウェブサイトの運営 ・年間アクセス件数 47,204件 ・月平均アクセス件数 3,933件 ○ひとり親サポートハンドブック(2,000部)の発行とひとり親ウェブサイトの運営 ○「たかまつ父親手帳」5,000部発行	5	昨年と同様、子育てハンドブックを8,000冊増刷し、ひとり親サポートハンドブック2,000部の発行と子育て支援総合情報サイト「らっこネット」及びひとり親ウェブサイトの運営管理を行い、たかまつ父親手帳5,000部を発行し、総合的な情報提供が図られた。 らっこネットについては、H28.1月からシステム改修により、アクセス件数のカウントの仕方が変更となった。また、システムトラブルにより使用できない期間があった。	○子育てハンドブック「たかまつらっこ」7,000部増刷(情報修正含む) 子育て支援総合情報サイトの情報更新、母子健康手帳交付時に配布するほか子育て支援課窓口、市民相談コーナー、子育て支援事業実施施設などの窓口で配布。 ○「子育て支援総合情報サイト」らっこネットからのお知らせとして、市役所・民間団体等の子育て家庭向けイベント等を掲載。 ○ひとり親サポートハンドブック(2,000部)の発行とひとり親ウェブサイトの運営	子育て支援課
224	IV	1	(1)	公共施設利用総合情報システム事業	市	学校体育施設開放事業、市スポーツ施設の利用者登録・予約管理および利用者への各種情報提供を行う。	市スポーツ施設の利用者登録・予約管理、学校体育施設開放事業及び利用者への各種情報提供を行う。	計画通り行えた。	5	計画通り行えた。	市スポーツ施設の利用者登録・予約管理、学校体育施設開放事業及び利用者への各種情報提供を行う。	スポーツ振興課
225	IV	1	(1)	子ども向けホームページ「きっずの森」情報発信事業	市	市内で開催される子ども向け行事や子どもの学習に関する情報を、子ども向けホームページ「きっずの森」にて発信する。	子ども向けホームページ「きっずの森」への掲載(広報たかまつ、児童館イベント情報、他課でのイベントなどから抜粋)	子ども向けホームページ「きっずの森」への掲載について、広報たかまつ、他課でのイベントなどから抜粋し、随時更新した	5	幅広くイベントの抜粋をし、内容豊富な子ども向けイベントの掲載ができた。	子ども向けホームページ「きっずの森」への掲載(広報たかまつ、児童館イベント情報、他課でのイベントなどから抜粋)	生涯学習課
226	IV I	1 5	(1) (2)	コミュニティセンターだよりの発行	コミュニティ協議会	各コミュニティセンターで発行している「コミュニティセンターだより」において、コミュニティセンター等で開催する講座・行事等の学習情報のほか、地域の学校関係情報など多彩な情報を紹介する。	各コミュニティセンターで発行している「コミュニティセンターだより」において、コミュニティセンター等で開催する講座・行事等の学習情報のほか、地域の学校関係情報など多彩な情報を紹介する。	各コミュニティセンターで発行している「コミュニティセンターだより」において、コミュニティセンター等で開催する講座・行事等の学習情報のほか、地域の学校関係情報など多彩な情報を紹介した。	4	計画どおり実施した。	各コミュニティセンターで発行している「コミュニティセンターだより」において、コミュニティセンター等で開催する講座・行事等の学習情報のほか、地域の学校関係情報など多彩な情報を紹介する。	生涯学習センター

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1～5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	IV	1	(1)									
227	IV	1	(1)	まなびCANだより「まなびかんづめ」の発行	市	生涯学習センターで開催される講座等の学習情報を紹介する情報誌「まなびかんづめ」を毎月発行する。	生涯学習センターで開催される講座等の学習情報を紹介する情報誌「まなびかんづめ」を毎月発行し、19ヶ所に配布する。	生涯学習センターで開催される講座等の学習情報を紹介する情報誌「まなびかんづめ」を毎月発行し、新しい配布先を増やし39ヶ所に配布した。	5	計画を上回って実施した。	生涯学習センターで開催される講座等の学習情報を紹介する情報誌「まなびかんづめ」を毎月発行し、19ヶ所に配布する。	生涯学習センター
228	IV	1	(1)	環境学習・環境教育の推進事業(再掲)(No. 198)					選択してください			環境保全推進課
229	IV	1	(1)	多文化共生事業(再掲)(No. 29)					選択してください			都市交流室
230	IV	1	(1)	家庭教育情報テレビ事業(再掲)(No. 57)					選択してください			生涯学習課
231	IV	1	(2)	地域コミュニティ協議会情報発信事業	市	市民・地域コミュニティ協議会・行政が双方から情報収集・発信・ネットワーク形成できる情報拠点として、ポータルサイト「コミねっと高松」を運営する。	引き続き、地域情報の情報拠点として活用していく。	地域コミュニティ協議会・行政が双方から情報収集・発信・ネットワーク形成できる情報拠点として活用することができた。	5	情報の更新も頻繁に行うことができ、積極的な情報発信ができた。	引き続き、地域情報の情報拠点として活用していく。	コミュニティ推進課
232	IV	1	(2)	市民活動センター情報発信事業	市	市民活動センターホームページ「ふらっと高松」において、NPO等団体の情報を収集・発信する。	ホームページ「ふらっと高松」を始めとするこれまでの情報発信事業に加え、新たな取組として、ケーブルテレビのコミュニティチャンネルを活用し、市民活動団体等の活動紹介チャンネルを設け、PRを行う協働事業に取り組む。	ホームページ「ふらっと高松」、メールマガジン、フェイスブック及び機関誌「コロボたかまつ」等を活用し、情報発信を行うことができた。また、ケーブルテレビ「コミュニティチャンネル」に市民活動団体活動紹介チャンネルを設け、市民活動に取り組む市民自らが出演し、効果的な活動紹介を行うことができた。	5	あらゆる媒体を活用し、また、市民活動団体を巻き込んだ情報発信を行うことで、タイムリーかつ効果的な情報発信ができた	引き続き、市民活動センター機能の一つである「情報収集・発信」に取り組み、市民活動団体の支援の充実を図る。	コミュニティ推進課 市民協働推進室

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	IV	1	(2)									
233	IV	1	(2)	まなびCANホームページ情報発信事業	市	まなびCANのホームページで講座の募集情報・施設情報・お知らせ・インターネット塾など各種生涯学習情報を発信する。	まなびCANのホームページで講座の募集情報・施設情報・お知らせ・インターネット塾など各種生涯学習情報を発信する。	まなびCANのホームページで講座の募集情報・施設情報・お知らせ・インターネット塾など各種生涯学習情報を発信した。	3	計画どおり実施した。	まなびCANのホームページで講座の募集情報・施設情報・お知らせ・インターネット塾など各種生涯学習情報を発信する。	生涯学習センター
234	IV	1	(2)	瀬戸内アートネットワーク事業(再掲)(No. 141)					選択してください			美術版美術課
235	IV	1	(2)	家庭・地域の教育力向上推進事業(再掲)(No. 177)					選択してください			生涯学習課
236	IV	1	(3)	生涯学習センター等の学習相談事業	市	市民が気軽に学習活動等に関する相談ができるよう、生涯学習センター等施設における学習相談など、相談機能の充実を図る。	市民が気軽に学習活動等に関する相談ができるよう、生涯学習センター等施設における学習相談など、相談機能の充実を図る。	システム開発ができなかったため、体制はできていないが、市民やコミュニティセンター職員からの学習相談に、窓口、電話、Eメールで対応した。	3	計測はできなかった。	市民が気軽に学習活動等に関する相談ができるよう、生涯学習センター等施設における学習相談など、相談機能の充実を図る。	生涯学習センター
237	IV	1	(3)	ホームページ等の人材情報提供	市	市民の学習活動を支援するため、人材や講座・学習資料など豊富で新しい学習情報の収集・提供を図る。	市民の学習活動を支援するため、人材や講座・学習資料など豊富で新しい学習情報の収集・提供を図る。	市民の学習活動を支援するため、人材や講座・学習資料など豊富で新しい学習情報の収集・提供を図った。	4	計画どおり実施した。	市民の学習活動を支援するため、人材や講座・学習資料など豊富で新しい学習情報の収集・提供を図る。	生涯学習センター
238	IV	1	(3)	レファレンスサービス	市	図書館所蔵の資料等を調べ、利用者からの問合せ調査の回答や学習に必要な資料の紹介等を行う。	所蔵の資料等を調べて、利用者から問合せのあった調査の回答や学習に必要な資料を紹介する。	所蔵の資料等を調べて、利用者から問合せのあった調査の回答や学習に必要な資料を紹介した。	5	利用者からの問い合わせ・調査は概ね回答できた。	所蔵の資料等を調べて、利用者から問合せのあった調査の回答や学習に必要な資料を紹介する。	中央図書館
239	IV	1	(3)	消費生活相談事業(再掲)(No. 63)					選択してください			くらし安全安心課
240	IV I	2 5	(1) (2)	コミュニティセンター等パソコン講習会	市	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進する。	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進する。	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進する。	5	計画どおり実施した。	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進する。	生涯学習センター

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	28事業内容(計画)	28事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を選択してください)	評価の理由	29事業内容(計画)	課名
	IV	2	(1)									
241	IV	2	(1)	情報モラル等指導支援事業	市内小中学校	すべての小中学校において教員の情報モラル研修及び学級担任による情報モラル教育を支援する。	改訂した情報モラルの啓発資料の配布を、新小学6年生及び保護者に配布し、意識の拡大・継承を図る。	市内小中学校の児童・生徒、保護者を対象に情報モラルに関するアンケート調査を実施し、集計結果を各校にデータ提供を実施した。また、啓発資料として保護者用リーフレット(データ版)を作成した。	4	情報モラルに関わる市内小中学校の児童・生徒、保護者の実態を把握し、分析を行い、啓発資料として保護者用リーフレット(データ版)を作成した。	改訂した情報モラルの啓発資料の配布(紙媒体)を、新小学6年生及び保護者に配布するとともに、保護者対象の出席前講座、教職員対象の情報モラル研修会で活用し意識の拡大・継承を図る。	総合教育センター
242	IV	2	(2)	まなびCAN、Eメールサービス	市	広報たかまつの発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信する。	広報たかまつの発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信し、登録者数300人を目指す。	広報たかまつの発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信し、登録者数512人だった。	5	講座参加人数は、目標を上回った。	広報たかまつの発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信し、登録者数300人を目指す。	生涯学習センター
243	IV	2	(2)	まなびCANインターネット塾	市	生涯学習センターで開催された新規講座や講演等の内容要旨や講座風景などの情報をホームページで公開する。	生涯学習センターで開催された新規講座や講演等の内容要旨や講座風景などの情報をホームページで8講座公開する。	生涯学習センターで開催された新規講座や講演等の内容要旨や講座風景などの情報をホームページで3講座公開した。	3	講座参加人数が目標に達しなかった。	生涯学習センターで開催された新規講座や講演等の内容要旨や講座風景などの情報をホームページで3講座公開する。	生涯学習センター
244	IV III	2 3	(2) (1)	収蔵品システム運営事業	市	歴史資料館・菊池寛記念館・美術館などネットワーク施設の収蔵品のデータ管理、インターネットでの情報公開を行う。	歴史資料館・菊池寛記念館・美術館などネットワーク施設の収蔵品のデータ管理、インターネットでの情報公開を行う。	歴史資料館・菊池寛記念館・美術館等ネットワーク施設の収蔵品のデータ管理、インターネットでの情報公開を行った。	5	未整理資料の整理が進み、登録件数が増えたことから、収蔵品情報システムアクセス件数も前年度を上回った。	歴史資料館・菊池寛記念館・美術館等ネットワーク施設の収蔵品のデータ管理、インターネットでの情報公開を継続して行う。	歴史資料館ほか
245	IV	2	(2)	図書館のインターネット予約サービス	市	図書館利用者カードの所有者を対象に、図書館ホームページからインターネット蔵書予約等を行う。	図書館利用者カードの所有者に、高松市図書館ホームページからインターネット蔵書予約、貸出・蔵書予約確認(貸出延長・予約変更・取消)ができるよう維持・整備を図る。	図書館利用者カードの所有者に、高松市図書館ホームページからインターネット蔵書予約、貸出・蔵書予約確認(貸出延長・予約変更・取消)ができるよう維持・整備を図った。	5	予約件数は、目標を上回った。	図書館利用者カードの所有者に、高松市図書館ホームページからインターネット蔵書予約、貸出・蔵書予約確認(貸出延長・予約変更・取消)ができるよう維持・整備を図る。	中央図書館
246	IV	2	(2)	新しいメディアの活用	市	「メルマガもっと高松」への行事等の登録(市民への情報配信)	生涯学習課主催・共催等の行事を「メルマガもっと高松」へ登録し、月2回の情報配信をする。	生涯学習課主催及び共催事業等の行事、また事業のスタッフ募集等の情報配信を行った。	4	必要な情報を発信することができた。	生涯学習課主催・共催等の行事を「メルマガもっと高松」へ登録し、月2回の情報配信をする。	関係各課